

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

目 次

1 法人本部	
(1) -① 法人本部運営	1
(1) -② 地域における公益的な取組	7
(2) 障害者支援センター管理事業	8
2 障害者支援センター相談支援事業所	10
3 障害者支援センター多機能型事業所	
(1) 生活介護事業	11
(2) 自立訓練（生活訓練）事業	13
(3) 就労移行支援事業	15
(4) 就労継続支援B型事業	17
(5) 就労定着支援事業	19
4 銀河	
(1) 生活介護事業	20
(2) ガイドヘルプサービス事業所	23
5 障害者支援センター	
(1) 障害者地域就労援助センター事業	25
(2) 障害者就業・生活支援センター事業	30
(3) 地域障害者施設支援事業	32
(4) 手話通訳者等養成事業	36
(5) 基幹相談支援センター等事業	37
6 障害者一時ケア事業	41
7 発達障害支援センター就労支援事業	44
8 障害者相談支援キーテーション事業	46
9 けやき体育館	
(1) けやき体育館管理・運営事業	49
(2) 障害者余暇活動支援事業	52
○福祉研修センター研修一覧表	巻末

1 法人本部

(1)－①法人本部運営

1 事業概要

法人運営に係る評議員会、理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を策定するとともに、職員の採用、育成、人事、労務管理を行った。また、人材の確保に向けた採用 PR 活動や近隣大学との連携など法人として新たな取り組みを行った。

2 事業内容

(1)理事会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主な議題
5月26日	理事 6/6 監事 2/2	・令和4年度事業報告、収支決算、監事監査報告 ・職員就業規則の一部の改正 ・評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部の改正 ・評議員候補者の推薦 ・理事及び監事候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・定時評議員会の招集 ・資金運用実施計画
6月19日	理事 7/7 監事 2/2	・理事長及び常務理事の選定
8月10日	理事 6/7 監事 2/2	・指定管理者の申請
11月28日	理事 6/7 監事 2/2	・収支予算の補正 ・職員給与、退職手当規程の一部の改正
3月18日	理事 5/7 監事 2/2	・専決処分承認 ・経理規程の一部の改正 ・相談支援事業所管理規程の一部の改正 ・銀河生活介護事業所管理規程の一部の改正 ・多機能型事業所管理運営に関する規程の一部の改正 ・銀河ガイドヘルプサービス事業所の管理運営に関する規程の一部の改正 ・経営計画 ・令和6年度事業計画、収支予算 ・臨時評議員会の招集 ・常勤役員の報酬の改定 ・理事候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・職員の人事

(2)評議員会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主な議題
6月19日	評議員 5/8	・令和4年度収支決算 ・理事及び監事の選任 ・評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部の改正

3月28日	評議員 7/8	・理事の選任
-------	---------	--------

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席・同意数/定数	議 題
6月1日	委員 3/3	・評議員の選任(2名)

(4) 監査の実施

監事監査

実施日	5月19日
実施者	法人監事2名(大崎ケイ子氏、渋谷久美氏)
対 象	令和4年度法人運営(事業)及び財務(収支決算)
監査結果	5月26日理事会に報告のとおり

(5) 運営協議会の開催

開催日	出席者数/現在数	議 題
9月14日	9/10	・事業団が行っている事業 ・地域との連携

(6) 人材の確保

ア 次のとおり職員の募集及び採用を行った。

区分	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数
正規職員・福祉職員(1回目)	3月1日～4月12日	5	4	2
正規職員・福祉職員(2回目)	4月1日～5月10日	3	3	1
正規職員・福祉職員(3回目)	7月1日～8月30日	3	3	1
正規職員・看護職員(1回目)	随時	1	1	0
正規職員・看護職員(2回目)	随時	1	1	1
正規職員・看護職員(3回目)	随時	1	1	1
契約職員・生活支援員(1回目)	3月20日～4月24日	3	5	3
契約職員・生活支援員(2回目)	6月1日～6月12日	若干名	7	1
契約職員・事務職員(1回目)	12月26日～1月15日	2	6	2
契約職員・生活支援員(3回目)	2月1日～2月14日	5	5	1
契約職員・生活支援員(4回目)	2月21日～3月14日	3	1	1

イ 採用PR活動

事業団への採用情報に関心のある方や実習生など希望に対し登録を依頼し、採用に関するメール配信を行った。(年2回)

(7) 人材の育成

ア 職員研修の実施

研修区分	内容	参加人数
職場研修 OJT	階層研修	8
	・新規採用職員研修(法人内)	7
	・管理職研修(ハラスメント)	78
	法人本部	78
	・情報セキュリティ・コンプライアンス研修	14
・感染症対策セミナー	14	
テーマ別研修	・吐物処理研修(未受講者のみ対象)	56
・虐待防止セミナー	56	
・事故防止セミナー(2回)	168	

	本部 専門 研修 職場外	・令和5年度新任主査研修	1
派遣研 修		資格取得研修	
		・強度行動障害支援者養成研修(基礎研修・実践研修)指導者研修	1
		・無料職業紹介責任者講習	1
		・神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修	2
		・神奈川県サービス管理責任者研修・児童発達支援管理責任者補足研修	1
		・神奈川県サービス管理責任者研修・児童発達支援管理責任者基礎研修	1
		・令和5年度神奈川県主任相談支援専門員養成研修	1
		・令和5年度ギャンブル等依存症地域生活支援指導者養成研修	1
		・重症障害児(者)医療 看護師 講習会	1
		外部機関・専門	
		・摂食障がいのある方への支援～薬剤師の関わり方～	1
		・支援者向け依存症研修会	1
		・令和5年度精神医学基礎研修 精神科の薬物療法	2
		・薬物依存症研修(地域生活支援指導者養成研修)	1
		・医療的ケア研修	1
		・技能体得講座 A アンガーマネジメントについて	1
		・心のバリアフリー	2
		・第8回市民講座 彩乃先生に聞く！逆境でも折れない心を作ること はできますか？	1
		・セルフネグレクトのアセスメントとケア	1
		・行動援護従業者養成研修	1
		・自閉症 e サービスピックセミナー 親の会活動と支援者への思い	1
		・自閉症 e サービス基本講座①自閉症の特性と学習スタイル(オンデ マンド版)	1
		・自閉症 e サービス基本講座②評価から支援へ(オンデマンド版)	1
		・自閉症 e サービス基本講座③構造化のアイデア(オンデマンド版)	1
		・自閉症 e サービス基本講座④コミュニケーション支援(オンデマンド 版)	1
		・自閉症 e サービス基本講座ステップアップ①行動上の問題～問題行 動の理解と対応～(オンデマンド版)	1
		・2023年度 自閉症基礎セミナー	1
	・国立のぞみの園セミナー2023	1	
	認知症または認知症の疑いのある知的障害者への支援と課題		
	・パニックの理解と予防 適切行動支援 基礎編	1	
	・おとなの発達障害ケーススタディ	3	
	・障害者差別解消研修	1	
	・多様性を大事にする教育とは～相模原の現状とこれから～	1	
	・令和5年度基幹相談支援センター強化研修	1	
	・相談支援従事者プレ/初任者研修	1	
	・日本相談支援専門員協会 2023年度全国相談支援ネットワーク研 修	1	
	・交流分析を相談援助の実践に活かす～心理的アプローチを用いた	1	

	相談援助～	
	・令和5年度 障害者雇用促進セミナー	1
	・第6回農福連携セミナー	1
	・障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	2
	・障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修	1
	・精神障害者就労支援セミナー	1
	・令和5年度第2回 福祉のしごとフェア	1
	・令和5年度神奈川県立鎌倉支援学校 夏季公開講座	1
	・令和5年度神奈川県意思決定支援ガイドライン研修	1
	・神奈川県障がい者就労支援力向上研修会オンデマンド講座	1
	・令和5年度神奈川県障がい者就労支援機関向け研修会(医療連携研修会)	1
	・重層的支援体制整備モデル事業研修会	1
	・令和5年度 介護人材確保・定着セミナー	1
	・企業向け安全研修	5
	・社会福祉法人会計実務講座(上級)	1
	・2023年「給与大臣」年末調整の前準備	1
	・2023年「給与大臣」年末調整セミナー	1
	・DX導入研修	2
	・令和5年度 新人指導力強化研修	1
	福祉研修センター	
	・障害児の理解	1
	・ご本人の気持ちに寄り添う支援とは「障害者の理解」	4
	・障害福祉制度の基礎	5
	・相模原市の障害福祉制度	2
	・精神保健福祉の歴史	2
	・最新の障害福祉の動向 障害福祉サービス等報酬改定の概要と見直し	2
	・サービス等利用計画と個別支援計画の関係	3
	・ソーシャルワークについて学ぶ①『ソーシャルワークの本質』5/30	4
	・ソーシャルワークについて学ぶ②『ソーシャルワークの価値と倫理』7/4	5
	・ソーシャルワークについて学ぶ③『ソーシャルワークの専門性』8/15	5
	・虐待防止・権利擁護研修①あらためて問う「障害者と人権」	2
	・虐待防止・権利擁護研修②職場のメンタルヘルス～燃えつきないためのセルフケア～	1
	・虐待防止・権利擁護研修③身体拘束の適正化について	1
	・エンパワメントの視点を学ぶ	2
	・『ここが知りたい！』面接技法	8
	・コミュニティソーシャルワーク	2
	・ソーシャルワークアプローチ研修	1
	・相模原市障害福祉の歴史	2
	・支援のあり方を考える～自閉スペクトラム症の支援から～	1
	・精神障害者の支援を考える①地域生活を支援するための必要な視点	2
	・精神障害者の支援を考える②事例検討	2
	・精神障害者の支援を考える③精神障害者の家族支援	2
	・より良い部門 職場づくり スーパービジョンの視点から	1
	・ウィズコロナ時代での工賃向上	2

	・これが工賃向上への近道！	2
	・地域産業との連携を考える	1
	・売れる自主製品の開発①	1
	・福祉と司法の連携	2
	・ゲーム障害について学ぼう	5
	・自分の心のメンテナンス研修	1
	・リハビリテーションの哲学	1
	・卒業後のわたしたち	1
	・相模原強度行動障害支援者養成研修	1
	・権利擁護と虐待防止について	2

イ 資格取得(登録)の状況

社会福祉士 5、精神保健福祉士 1

ウ 法人内短期的人事交流

内容	回数	参加人数
他の所属への会議参加	5回	8名

(8)リスクマネジメント

ア 危機管理会議

災害対策委員会	松が丘園・銀河の合同防災訓練の実施 災害備蓄食料の在庫確認とフードバンクへの提供 業務継続計画（BCP）の改訂
感染症対策委員会	感染症対策研修 吐物処理訓練の実施
虐待防止委員会	虐待防止研修の実施（1回） セルフチェックリストと意見交換（2回） 意識啓発チラシ作成、身体拘束適正化委員会
事故防止委員会	交通事故防止・事故防止研修の実施と意識啓発 事故報告・ヒヤリハット報告の情報共有

イ 苦情解決体制

第三者委員会による苦情等の状況報告と対応への助言

年	苦情	苦情の分類				ご意見・ご要望
		人的サービス	施設の管理運営	施設設備	その他	
R5	1	1	0	0	0	2
R4	0	0	0	0	0	1

ご意見・ご要望の内容

生活相談課の FAX 送信に関する事、けやき体育館の申請書の控えの受け渡しに関する事
--

ウ 事故及びヒヤリ・ハット報告の状況

年度	事故報告	交通事故・違反	事務処理ミス	ヒヤリ・ハット報告
R5	15	5	0	2
R4	11	5	1	10

エ 個人情報保護・開示
開示申出件数:0 件

(9)広報活動及び情報公開

- ア ホームページによる情報提供:年間 240回
けやき体育館公式 X 投稿:年間 365 回
- イ 機関紙「こもれび」の発行:年間 2 回・計2,000 部・地域の方、関係機関等へ配布
- ウ 「松が丘通信」の発行:年 6 回
「けやき体育館通信」の発行:年 6 回
- エ 松が丘園祭:新型コロナウイルス感染症の5類引き下げにより、10月28日(土)4年ぶりに一般開放により実施した。地域にお住まいの方や福祉に関心を持つ学生の方など多くの方が来場し、盛り上がりを見せた。

(10)職員の労務管理及び福利厚生

- ア 衛生委員会の開催:毎月 1 回開催
- イ ストレスチェックの実施:令和5年11月・対象者 74 人
- ウ 臨床心理士による職員なんでも相談の実施:相談件数6件(事業団 5 件、文化財団 1 件)
- エ インフルエンザ予防接種費用の一部補助:利用者 21 人

(11)利用者満足度調査(アンケート)の実施

実施期間:9月1日~10月31日

事業名	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ ある程度満足の割合
多機能型事業所	44	44	100%	95%
けやき体育館	213	182	85.4%	98%
銀河・生活介護事業所	42	34	81%	100%
障害者一時ケア事業	68	52	76.5%	100%

(12)近隣大学との連携

- ア 松が丘園での授業受入れ
和泉短期大学2年生必修科目の授業の一部を松が丘園で行い、事業団職員が講師として携わった。
1月10日(水) 2クラス 合計 70名
1月10日(金) 3クラス 合計 100名
- イ 松が丘園祭での連携
10月28日(土)に開催された松が丘園祭と和泉短期大学いずみ祭においてスタンプラリーを共同で実施した。

1 法人本部

(1)－② 地域における公益的な取組

1 事業概要

社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」について、対面を中心として外出や活動のプログラムや食事提供を中心に実施した。

2 事業内容

(1)知的障害者フリースペース活動事業「まつカフェ」実施状況

単位:人

年度	日時・内容	活動場所	参加者数
R5	10月22日(日)13:00～15:00 プラネタリウム鑑賞	市立博物館	4
	10月28日(土)10:00～15:00 スヌーズレン体験	松が丘園	145
	11月12日(日)13:00～15:00 ダンス体験	松が丘園	11
	12月17日(日)10:30～12:00 体操教室	松が丘園	3
	1月6日(土)13:00～15:00 初詣	亀が池八幡宮	9

(2)みんなのけやきカフェ

単位:人

年度	日時	会場	参加者数
R5	1月27日(土)13:00～15:00 おやつ作り①	けやき体育館	9
	2月25日(日)10:00～12:00 おやつ作り②	けやき体育館	12
	3月16日(土)11:30～ カレー提供	けやき体育館	42

(3)プロジェクトチームでの運営

地域における公益的な取組を、地域課題への実践的なアプローチ方法として位置付けるために、日々利用者と接する就労相談・生活相談・余暇活動支援・通所支援部門の担当者によるプロジェクトチームで企画・運営した。

単位:回

年度	開催回数	内容
R5	6	・各回講座実施に向けた内容整理・役割分担 ・講座前リハーサル ・使用物品の買出し

1 法人本部

(2)障害者支援センター管理事業

1 事業概要

障害者支援センター松が丘園全体に係る統括及び施設の維持管理を適宜実施し、職員が働きやすい施設環境の整備を進めた。

2 事業内容

(1)松が丘園全体に係る統括

項目	内容	実施日等
安全運転研修	主に送迎車等を運転する職員を対象にした、実車での運転研修、安全確認の意識や心構えの再確認	9/27、2/26 受講者計4名参加 主催：(株)トヨタ東京教育センター トヨタドライビングスクール東京
衛生委員会	メンタルヘルス、働きやすい環境づくり感染症対策	毎月1回
防災訓練(第1回)	地震・火災を想定した通報訓練、避難誘導訓練、水消火器による消火訓練	6/21・130名参加
防災訓練(第2回)	火災を想定した通報訓練、避難誘導訓練、水消火器による消火訓練	11/27・115名参加

(2)施設の維持管理

修繕・機器項目	内容	施行業者
消防用設備修繕	消防設備非常用電源用蓄電池	河本総合防災
建物・館内修繕	自家発電設備ファンベルト交換	見上防災設備
建物・館内修繕	受水槽バルブ修繕	野崎工業所
建物・館内修繕	食堂・団体活動室・喫茶麦の穂他ブラインド／カーテン交換	小林住設
建物・館内修繕	2階／3階廊下他LED照明交換 風除室非常灯修繕	わきざき電能サービス
建物・館内修繕	無線LANアクセスポイント増設	AICOM

業務委託項目	内容	委託業者
清掃等	毎日の日常清掃及び年2回定期清掃	清美
警備	出入管理、巡回等警備 16:50～22:30	蒼鳳
機械警備	夜間機械警備 22:30～翌日 8:30	相模警備保障
一般廃棄物等回収、処理	一般・産業廃棄物の運搬、回収、処理	ダストソリューション
消防用設備保守点検	消火器具、屋内消火栓設備等の保守点検	河本総合防災
自家用電気工作物保守点検	受電設備、配電設備等の保守点検	関東電気保安協会
冷温水発生機保守点検	冷温水発生機保守点検・冷暖切替	テクノ矢崎
エレベーター等保守点検	エレベーター保守点検、24時間遠隔監視	日立ビルシステム
樹木剪定	敷地内樹木剪定	相模植木
害虫駆除	館内・厨房害虫駆除	大清産業

(3)災害対策

福祉避難所に指定されている松が丘園において、災害時に必要な備蓄品を保管しているが、松が丘園祭の実施の際、来場者に向けて災害備蓄品の紹介スライドと実物を展示した。これにより、災害時に必要な物資や食料、水などを準備しておくことの重要性を広く伝え、具体的な備えの意識の向上に努める取組みを行った。

2 障害者支援センター相談支援事業所

1 事業概要

障害福祉サービス利用申請に当たって必要となるサービス等利用計画の作成及び障害者支援施設や精神科病院等からの退所・退院を希望する障害者の相談支援を行った。

(指定特定相談支援事業所、指定一般相談支援事業、障害児相談支援事業)

2 事業内容

サービス等利用計画及び障害児支援利用計画作成の状況

面談等の対応について引き続き対面による支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となったことにより、サービス利用に係る体験などの支援も増加した。

単位:人(3月末時点)

年度	契約者数	内 訳		
		サービス等利用計画の作成 (特定相談支援)	地域移行支援 (一般相談支援) (※)	障害児支援利用計画の作成 (障害児相談支援)
R5	274	260	1	14
R4	296	275	0	21

(※)年間対応実人数

3 障害者支援センター多機能型事業所

(1)生活介護事業

1 事業概要

医療的ケアが必要な方を含む、重度の障害のある方の活動の場として、一人ひとりが豊かな生活が送れるよう、日々の状態と個々の意思に合わせた日中活動や健康管理等を実施した。今年度はコロナ禍を経て、外出等の活動を徐々に取り入れた。

2 事業内容

(1)利用者登録者数(3月末日現在) 単位:人

年度	人数	うち 要医療的ケア
R5	20	14
R4	20	13

*全員が重症心身障害者認定及び障害支援区分6

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R5	238	10	1,813	76.2%
R4	238※	10	1,878	78.9%

※新型コロナウイルス感染症の為、3日間(6/23~6/25)休所した。

(3)入退所の状況

	人数
入所	0
退所	0

(4)提供したサービス内容

ア 日中プログラム

① 近隣への外出・散歩

感染症対策を講じながら、淵野辺公園や近隣の散策を行った。

② 創作活動・園芸活動等

(内容)

季節的活動	鯉のぼり飾りつけ、菖蒲湯で足湯、園芸活動、七夕を楽しむ、風鈴作り、夏祭り、ゲーム大会、怪談話を楽しむ、読書の秋を楽しむ、名月を楽しもう、ハロウィン、クリスマス演奏会、落ち葉でしおり制作、年賀状作成、書初め、正月遊び、温泉気分で足湯、節分豆まき、ひな祭りを楽しむ、アルバム作成
その他	ゲームを楽しむ、楽しく体を動かそう、虫歯予防しよう、レクリエーション大会、アロマで心地よさ探し、カレンダー制作、初詣の気分を楽しもう

③ 社会体験

相模川ふれあい科学館見学

イ 医療的ケア

栄養剤や水分、ミキサー食の注入や喀痰吸引等の医療的ケアを実施した。

(医療的ケアの実施状況)

単位:回

年度	注 入	吸 引	吸 入	酸素吸入	その他	合 計
R5	898	687	132	104	142 (人工呼吸器管理37)	1,963
R4	925	666	135	108	120 (人工呼吸器管理43)	1,954

ウ コロナ禍の対応を踏まえた安楽な環境の支援

新たに介護ベットを2台導入し、感染症対策に配慮しつつ、利用者一人ひとりの希望にこたえることのできる環境を整えた。

エ 送迎

利用者の状況に応じて、リフト車等を利用して行った。送迎時に利用者の状況について、家族との情報共有を行った。

(送迎回数)

単位:回

年度	リフト車	ワゴン車等	合 計
R5	1,084	276	1,360
R4	1,195	330	1,525

(5)医療的ケア委員会

医療的ケアを安全かつ適正に実施することを目的に、医療的ケア総括医を中心に月 1 回の会議を開催した。出席者は、委員長の常務理事、事務局長、管理者、担当看護師及び職員等で、日々の医療ケアや感染症等について情報共有を行った。

(6)職員の資質向上

相模原市内において重症心身障害児者の支援に携わる職員に必要な知識・技術の習得及び専門性向上の為、支援技術向上研修(摂食・ポジショニング)をオンラインにて実施した。また、利用者個人のケアについて、対面でケア検討会(摂食)を開催し、本人・家族・関係機関との情報共有を行った。

(7)医療的ケア総括医との連携強化

- ア 気管カニューレ抜去時の連絡体制及び対応について、令和 4 年度に作成したマニュアルに従い、医療的ケア総括医の助言をもとに、訓練を実施し、マニュアルの見直しを行った。
- イ 医療的ケアに必要な知識、技術の習得のため、医療的ケア総括医による研修を実施した。

(8)関係機関との連携

ア 重症心身障害児者ネットワーク会議

市内重症心身障害児者の支援者間のネットワーク構築を目的として実施した。(オンライン開催)
(内容)

- 第1回 新規利用者の受け入れに関して困っていること
- 第2回 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで、各事業所の感染症対策への取り組みの変更点などを共有。
- 第3回 重心ネットワークの対面開催について
- 第4回 相模原市における課題について、基幹相談支援センターより「意思決定支援の取り組みにおける調査報告」の報告

イ 神奈川県重症心身障害児者協議会(オンライン及び対面で開催)

研修会、関係機関との連絡会等の実施、神奈川の RYOUIKU47 号発行

(9)その他

- ア 次年度多機能型事業所の利用契約説明会 3回(2月7日、28日、29日)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(2)自立訓練(生活訓練)事業

1 事業概要

将来的に就労を目指す若年障害者等を対象に、基礎的な生活力を身につけられるよう自立した生活に必要な講座やプログラムを企画、実施した。今年度は、利用者の思いや力をいれて取組んでいることを外部に発表することで、利用者一人ひとりの自信へとつながった。

2 事業内容

(1)利用者数(3月末日現在) 単位:人

年度	利用者数
R5	12
R4	15

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R5	238	18	2,800	65.4%
R4	238	18	3,204	74.8%

(3)提供したサービスの内容

ア 作業能力向上プログラム(企業受注作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R5	149,990円	156	961円
R4	372,800円	170	2,193円

イ 就労準備基礎プログラム

テーマ	場所・内容	実施日・回数等
インターンシップ(職業体験)	けやき体育館(掃除)	延べ6人・12日
ビジネスマナー講座	就労の心構え、ルールとマナー、DVDで学ぶ「就労とは」、ビジネスマナー講座等	5月～3月 計5回
履歴書の書き方	氏名・住所・学歴・職歴等	1月17日
仕事体験	スーパーのバックヤード体験	3月11日

ウ 自立促進プログラム

事業名	実施回数
生活力を高める講座(制度について)	1回
自分の将来を考える講座	1回
コミュニケーショントレーニング	随時個別
金銭管理	随時
創作講座	80回
保健衛生講座(感染症予防対策)	1回
家事講座(靴の洗い方・ゴミの分別・洗濯)	3回

エ 資格取得促進プログラム

事業名	実施期間	修了者数(人)
ビルメンテナンス講座	6月～9月	12

介護職員初任者研修	10月～12月	11
サービスケアサポーター研修	10月～12月	12

オ 体力増進プログラム

事業名	実施回数
よさこい	92回
ストレッチ	214回

カ ライフサポート講座

事業名	実施日
ライフサポート講座(13回) 延べ 161人	食育講座(4/14)、衛生管理(5/23)、食事マナーについて(6/19)、バーチャルレストラン(7/28)、コンビニ弁当について(10/12)、防犯対策、スマホ講座(11/24)、防災について(12/18)、交通安全講座(2/26)、カロリーについて(8/29)、季節の料理を知る(11/20)、グループホームを学ぶ(2/22)、生活に必要な事務手続き(2/22)、目的地に行こう(3/8)

キ その他

事業名	実施日
社会人研修	3月1日
地域との交流活動	7月15日(津久井養護学校)、 12月3日(文化芸術祭)、 8月15日、2月10日(相模原”ゆめ”プロジェクト)
実践報告「卒業後のわたしたち」(福祉研修センター事業)	10月30日
多機能型事業所運動会	11月24日
発達障害支援センター主催 就労準備セミナー発表	1月26日
相模原支援学校 ゲストスピーカー	1月30日
余暇体験:余暇支援講座	3月18日

(4)日常生活の支援(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業と共通)

ア 食事の提供

栄養士作成の献立によるバランスのとれた給食の提供を行った。
(厨房業務委託業者:ハーベスト㈱)

イ 健康管理

・総合健康診断 8回(11月～12月)
(5～6名の班に分かれ、総合相模更生病院にて受診)
・定期健康相談 精神科:4回/年

ウ 苦情解決・権利擁護

福祉オンブズマンネットワーク来所相談 10回
(4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、2月、3月)

エ その他

・次年度多機能型事業所の利用契約説明会 4回(1月19日、18日、2月1日、2月8日)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(3)就労移行支援事業

1 事業概要

一般就労を希望する障害者を対象に、就労にむけたプログラムに加え、利用者ひとり一人の就職にむけた課題や、困り事等を面談を実施し話あうことで、安定した就職活動を支援することができた。

2 事業内容

(1)作業班別利用者数(3月末日現在)

単位:人

年度		男	女	計	合計
R5	食品喫茶班	2	2	4	7
	企業受注班	2	1	3	
R4	食品喫茶班	1	2	3	4
	企業受注班	0	1	1	

(2)各月の利用者数の推移(当該月の最大値)

単位:人

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
R5	8	8	8	8	9	9	7	7	7	7	7	7	7.66
R4	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	9	4	11.5

(3)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R5	238	18	1,624	37.9%
R4	238	18	2,008	46.9%

(4)就労状況

年度	人数	就労先
R5	2	(株)オープンアップウィズ(旧(株)ビーネックスウィズ)、ミヤジフーズ(株)
R4	9	三菱重工業(株)、第五電子(株)、(株)ビーネックスウィズ、(株)ワールドスタッフイング、日産自動車(株)、生活協同組合パルシステム神奈川、(株)STARTLINE IBUKI ファーム、はーとふる農園

(5)提供したサービスの内容

ア 作業能力向上プログラム(食品喫茶作業、企業受注(箱折り等)作業)

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R5	1,322,130 円	89	14,855円
R4	1,269,180 円	138	9,197 円

イ 就労準備プログラム

テーマ	場所・内容	実施人数・回数等
企業見学	ジュベール、焼肉智姫、(株)オープンアップウィズ、(株)エクスシオジャパン、三菱重工業MHIファシリティサービス(株)、(株)ミヤジフーズ、(株)ワールドスタッフイング	延べ9回
インターンシップ	けやきカフェ	2人
ビジネスマナー講座	身だしなみ講座 清掃入門 面接練習	随時実施 1回 随時実施

履歴書の書き方		随時実施
就労準備講座	就職ガイダンス(就職を目指すために必要な情報提供) 仕事を考える ハローワーク利用方法について 働く準備について 就職活動とは	随時実施 1回 1回 2回 2回

ウ 一般就労移行支援プログラム

テーマ	場所・内容	実施人数・回数等
面接対策講座		随時実施
企業実習	(株)オープンアップウィズ (株)エクシオジャパン 三菱重工業MHIファシリティサービス(株) (株)ミヤジフーズ	2人 1人 1人 1人
求職活動支援		随時実施
職場定着支援	会社訪問、来所面談	延べ 15人
就職ガイダンス	採用先に合わせた求職活動について	6回
職業評価	ワークサンプル幕張版(職業能力を評価する検査)の実施	7人
TTAP	※TTAP:自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール (地域生活に必要なスキルの評価を行う検査)	1人

エ 自立促進プログラム

事業名	実施日・回数等
生活力アップ講座(感染症予防対策)	3月9日
こころのセルフマネジメント講座	9月15日
コミュニケーショントレーニング	12月28日
交通安全講座	2月26日
ビジネストレーニング(E-ラーニング)	随時
地図を見て目的地を目指す	2月22日

オ その他

事業名	実施日・回数等
多機能型事業所運動会	11月24日
発達障害支援センター主催 就労準備セミナー発表	1月26日
社会人研修	3月1日
実践報告「卒業後のわたしたち」(福祉研修センター事業)	10月30日
送別セレモニー	個別実施
就労アセスメント	1回

(6)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「2-(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(P.14)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(4)就労継続支援B型事業

1 事業概要

障害種別を問わず、通所に制限のある障害者を受け入れ、地域の潜在的な通所ニーズに対応した。生産活動を通して就労意欲や生産能力の向上を図り、利用者個々の要望に合わせた支援を行った。生産活動はコロナ禍により減少していた看板作業の受注数が増加した。利用者の直接の支援面では、利用者の思いや活動を発表する場を多くすることで、日々の作業や活動の活気に繋がることのできた。

2 事業内容

(1)利用者数(3月末日現在) 単位:人

年度	利用者数
R5	14
R4	11

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R5	238	14	2,515	75.5%
R4	238	14	2,134	64.0%

(3)提供したサービスの内容

ア 作業能力向上プログラム

① 企業受注作業

年度	工賃合計	支給人数	平均工賃(月額/人)
R5	3,085,450円	159	19,405円
R4	1,707,380円	140	12,196円

② 新型コロナウイルス関連商品製作

自主製品の種類の増加(感染予防板、フェイスシールド)

③ 個別の適性に配慮した作業展開 随時実施

イ 就労準備プログラム

事業名	実施人数・回数等
ビジネスマナー講座(清掃入門)	2人・1回
企業見学	9人・1回
履歴書の書き方	1人・随時
就労準備講座	1人・1回

ウ 一般就労移行支援プログラム

事業名	実施人数・回数等
面接対策講座	1人・1回
求職活動支援	随時実施

エ 自立促進プログラム

事業名	実施日・回数等
地域の社会資源を知る「運動編」(けやき体育館)	1月17日
みだしなみ講座(応用編)	7月19日
地域の社会資源を知る「手続き編」	12月13日
将来について考える講座「就労継続 A 型見学」	6月14日
健康プログラム	4 回

オ その他

内 容	実施日・回数等
多機能型事業所運動会	11月24日
社会人研修	3月1日
実践報告「卒業後のわたしたち」 (福祉研修センター事業)	10月30日
社会体験	11月9日(ビックサイト) 2月28日(お菓子工場見学)
送別会	個別実施
利用者懇談会	4月12日、5月17日、6月14日、7月12日、8月16日、 9月4日、10月11日、11月8日、12月13日、2月14日、 3月13日
社会生活向上講座(ニトリモール・ アリオ)	7月12日、9月14日

(4)日常生活の支援

3-(2)自立訓練事業の「2-(4)日常生活の支援」に記載の内容に同じ(P.14)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(5)就労定着支援事業

1 事業概要

就労移行支援事業等の利用を経て一般就労へ移行した障害者に対し、相談や企業訪問を通じて企業や家庭等と連携を図り、働くことに伴う課題を確認し、就労定着に必要な支援を行った。新たに自己理解を深める講座を開催し、職場での仕事に対するやりがいへと繋げることができた。

2 事業内容

(1)のべ契約者数 単位:人

年度	のべ契約者数
R5	17
R4	20

(2)年間支援状況

就労者の職場定着を支援するため、企業への巡回訪問や、利用者や家族等の面談を行い、企業や家庭との連携を図った。

単位:件

年度	企業訪問	来所	電話等	合計
R5	31	156	72	259
R4	64	140	290	494

(3)支援企業状況

就 労 先	対象者数
(株)オープンアップウイズ	1
TOPPAN エッジITソリューション(株)	1
生活協同組合 パルスシステム神奈川相模センター	1
(株)ヤオコー 八王子鎌水店	1
(株)ワールドスタッフィング	1
(株)キュービーネット(はーとふる農園)	1
(株)富士薬品ドラッグストアセイムス南橋本店	1
(福)幸会特別養護老人ホーム大野台幸園	1
三菱重工業(株)MHIファシリティサービス(株)	5
医療法人相愛会相愛病院	1
第5電子工業(株)	1
(株)ニコンつばさ工房	1
(株)ホンダカーズ神奈川西 U-SELECT 相模原中央	1

(4)自己理解を深める講座の開催(フォローアップ)

当事業所の利用者雇用数が最も多い企業を訪問し、“みだしなみ”や“人との距離感”について講座を実施した。自身の長所や短所をそれぞれの利用者が改めて知る機会となり、自身の魅力を再認識することができた。受講した利用者からは「明日からの仕事への意欲に繋がった」等の声が聞かれた。

4 銀河

(1)生活介護事業

1 事業概要

一人ひとりがその人らしい充実した生活を送れるよう、食事や排泄等の介護を実施して身体能力及び日常生活能力の維持・向上を図るための支援を行った。また、利用者の心身の状態の変化に応じた支援を迅速に行うため関係機関と連携を強化した。

個々の特性やニーズに応じた様々な活動を提供し、日中活動の充実を図った。行事やイベントは少人数で実施するなどの感染対策を講じて実施した。

2 事業内容

(1)利用者数(令和6年3月末現在) 単位:人

年度	利用者数
R5	43
R4	40

(2)年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R5	237	40	7,789	82.2%
R4	234	40	7,407	79.1%

(3)活動

ア 日常生活の支援

- ① 個別支援計画の作成(個別支援検討会 91回実施)
- ② 相談支援
- ③ 健康診断(9月19日)・健康相談(12回実施)

イ 送迎

送迎車5台で6コースの送迎を実施した。

ウ 食事の提供

アレルギーや摂食機能に配慮した食事を提供した。また、食事場所を分散し、間隔をあけて食事がとれるよう配慮した。

エ 日中活動・活動プログラム

内 容	実施回数等
創作活動	工作、小物、季節に合わせた作品等
音楽活動	音楽鑑賞、カラオケ、ピアノ絵本等
園芸活動	野菜の栽培や花木の手入れなどの園芸活動 花壇ボランティアの協力による「花のまちづくり、みどりいっぱい運動」への参加
健康づくり	ラジオ体操や散歩、ホールでのダンスなど
マイチョイス(音楽・体操・図工)	12回実施
レッツミュージック	12回実施
エクササイズ(体操・ヨガ)	35回実施

オ 行事

内 容	実施回数等
お楽しみイベント	9月～3月 13グループ (バーベキュー、お菓子作り、ドライブ、テイクアウトランチ等)
映画鑑賞	12回
お花見	淵野辺公園桜並木を楽しむ
夏祭り	8月1日～4日(各活動班で実施)
銀河の森フェスタ (松が丘園祭)	・フランクフルトを食べよう ・ポップコーンを食べよう ・自主製品販売会 ・ハロウィン仮装撮影会 ・銀河内作品展 ・活動写真展示(松が丘園祭で展示)
忘年会	12月19日～22日(各活動班で実施)
新年会	1月23日～26日(各活動班で実施)
お茶会	3月13日～22日(各活動班で実施)
浴衣撮影会	7月11日～21日(各活動班で実施)
作品展示	・レストランあいで展示 10月 ・フジノ・ボーダレスアート「いろとりどり展」出展 3/21～3/31

カ 地域交流・ボランティア受け入れ

内 容	実施回数等
カット(理容)ボランティア	3回 延べ37名カット
花壇ボランティア	2回 5名
相模女子大学との交流	1回 28名(利用者11名、学生17名)

キ その他

- ① 福祉オンブズマンネットワーク活用<年10回来所>
- ② 利用者満足度調査の実施<年1回実施>
- ③ 防災訓練の実施<防災訓練2回、避難訓練10回>
- ④ 「銀河だより」発行<3回発行>
- ⑤ 家族報告会

活動や行事の紹介、意見交換を行った。活動紹介動画は希望家族へDVDで配布した。
第1回では、利用者家族、相談支援専門員を講師に招き、親亡きあとについて考える機会とした。

実施月	内 容	参加人数等
第1回 9月27日	・親亡きあとを見据え「今できること」を考える。	出席 21名 DVD配布 26名
第2回 2月22日	・活動や行事の紹介 ・意見交換	出席 12名 DVD配布 26名

- ⑥ 学生実習受け入れ
介護等体験実習 11名(延べ104日)
- ⑦ 事業所PR方法の検討
体験実習の受け入れを実施<支援学校1年生3名>
- ⑧ 見学受け入れ
支援学校、他施設職員等の見学 12名

ク 研修

外部派遣研修	・安全運転講習 2名 ・その他研修 3名 (自閉症基礎研修、高齢知的障害者支援、摂食嚥下研修)
内部研修	・安全運転研修 10回 ・実践研修報告 1回

4 銀河

(2)ガイドヘルプサービス事業所

1 事業概要

移動・外出に困難を有する障害児・者を対象に、移動の援護、排泄・食事の介助、代筆・代読を含む視覚的情報の支援などを行うガイドヘルパーを、感染対策を講じながら派遣した。

また、登録ヘルパー向け定期研修及び登録ヘルパーの資格取得、新たなヘルパー育成のため「知的障害者ガイドヘルパー養成研修」を開催した。

2 事業内容

(1)ガイドヘルパーの利用件数及び利用時間

当事者団体の活動やイベントへの参加により1回あたりの利用時間が伸び、利用件数は前年度と同等、利用時間は前年度の104%となった。

ア 身体障害者 ()は同行援護の状況

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R5	52	2,403	10,241時間30分	4時間16分
	(48)	(2,372)	(10,091時間30分)	(4時間15分)
R4	56	2,505	10,242時間00分	4時間05分
	(52)	(2,466)	(10,102時間00分)	(4時間05分)

イ 知的障害者

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R5	30	591	1,899時間00分	3時間12分
R4	37	499	1,424時間00分	2時間51分

ウ 合計

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R5	82	2,994	12,140時間30分	4時間03分
R4	93	3,004	11,666時間00分	3時間53分

(2)ガイドヘルプサービスの質の向上

ガイドの質を向上するために、登録ヘルパーを対象に年4回の定期研修を実施した。うち2回を同行援護フォローアップ研修とした。

実施日	内 容	人数
4月	・「登録ガイドヘルパーマニュアル」の確認 ・記録の書き方について学ぶ	33
8月	・同行援護フォローアップ 「同行援護の基本を振り返る」 ・虐待防止セルフチェックリスト	26
11月	・ヘルパーの情報交換、交流 グループワーク「日頃の支援を振り返る」	32
2月	・同行援護フォローアップ 「同行援護の事件事例から、安全な誘導のポイントを振り返る」 ・虐待防止セルフチェックリスト	30
合計4回	—	121

(3)資格取得研修の開催

知的障害者ガイドヘルパー養成研修を、定員10名で2回開催した。

実施日	形態(時間数)	人数
①6月11日～6月22日 ②2月23日～3月8日 (上記期間中のうち3日間)	講義(13時間) 実習(6時間)	20

(4)登録ガイドヘルパーの確保

ガイドヘルパーを確保するために、年間を通して募集を行った。

年度	登録ヘルパー数(3月末現在)
R5	46
R4	46

5 障害者支援センター

(1)障害者地域就労援助センター事業

1 事業概要

企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図りながら、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行うとともに、市内の就労移行支援事業所への支援、定着支援事業との連携もあわせて行った。また、けやき体育館と連携し、障害者地域就労援助・けやき相談センターの運営を行った。

なお、「障害者就業・生活支援センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行っている。

2 事業内容

(1)事業所開拓の状況

本人の希望と適性に合った企業を開拓し、利用者の職域拡大と適職に就くための支援を行った。

単位:件

年度	開拓状況	協力企業	検討中企業
R5	1,365	41	7
R4	1,414	44	0

(2)就労状況

単位:人

年度	就労者
R5	61(4)
R4	52(10)

*1 ()は障害者支援センター多機能型事業所の登録者の就労及びトライアル雇用の状況

*2 就労継続支援A型事業所への就労者は含まない。

令和5年度の主な就労先	所在地
三菱重工業(株)相模原製作所	中央区田名
コニカミノルタウィズユー(株)	八王子市
三菱UFJビジネスパートナー(株)	中央区相模原
横河レンタ・リース(株)相模原事業所	中央区矢部
オープンアップウィズ南橋本本社ステーションアリー	中央区南橋本
(株)日立ゆうあんどあい(日立 ASTEMO(株)内)	厚木市
西濃運輸(株)相模原支店	中央区田名
モードプランニングジャパン町田多摩境雲母保育園	町田市
MHI さがみ物流サービス(株)	中央区田名
学校法人國學院大學(國學院大學相模原グラウンド)	中央区淵野辺
草加福祉会特別養護老人ホームマナーハウス麻溝台	南区下溝
(株)サードウェーブ綾瀬本社工場	綾瀬市
(株)クリエイトビギン秦野渋沢事業所	秦野市
(株)ウエルハーツ小田急鶴川営業所	町田市
(株)レント	厚木市
ヤマト運輸(株)厚木ゲートウェイベース店	愛甲郡愛川町
東レ(日建リース(株)はーとふる農園愛川)	愛甲郡愛川町
(株)ミュゼプラチナムグランアリオ橋本店	緑区大山町

相模原市教育委員会教育局(相模原市立中央小学校)	中央区中央
外務省	東京都千代田区
オープンアップウィズ町田オフィス	町田市
(株)スタッフサービスビジネスサポート	中央区鹿沼台
相模原市役所総務局職員課サポートセンター	中央区中央
神奈川県(神奈川県立座間高等学校)	座間市
神奈川県(神奈川県立上溝南高等学校)	中央区上溝
パーソルダイバーズ(株)田町事業所	東京都港区
ホームくれあ	中央区陽光台
三栄会特別養護老人ホームベルホーム	座間市
ベストライフ聖蹟桜ヶ丘	多摩市
アマゾンジャパン合同会社横浜町田 IC ロジスティックセンター	町田市
ABC クッキングスタジオ	町田市
東京ハウスクリーニング	東京都北区
敬寿会相模原敬寿園	南区磯部
JA 全農ミートフーズ	中央区上溝
(株)AT ケアホスピス上溝	中央区上溝
ギオン物流センター(ミツイ)	南区当麻
トワード厚木低温流通センター	愛甲郡愛川町
山村倉庫(株)	緑区大山町
オープンアップウィズ南橋本サテライト	中央区南橋本
カメラのキタムラ星が丘店	中央区星が丘
HRI(株)	東京都港区
(株)アルプスアグリキャリア	緑区西橋本
ミヤジフーズ(株)	南区古淵
ソリトシステムズ(株)(日建リース(株)はーとふる農園愛川)	愛甲郡愛川町
ヤオコー八王子鎌水店	八王子市
(株)ギフトホールディングス(ギフトダイバーシティソリューションズ)	町田市
ジョブサポートパワー(株)	立川市
(株)エクシオジャパンアクア福祉グループアクア相模原 6 丁目	中央区相模原
オーケーストア橋本店	緑区橋本
昌和精機	緑区若柳
キュービーネット(株)(日建リース(株)はーとふる農園愛川)	愛甲郡愛川町
(株)コンフィット	町田市

(3)就労後の支援状況

就労者の職場定着を支援するため、企業への定期的な巡回訪問や、就労者からの相談等に対応した。

就労援助センターを利用して就労した者のほか、他機関の支援により就労した者の定着支援の引継ぎが年々増えていることから、支援の対象となる在職者は増加傾向にある。

在職者数 (令和 6 年3月31日現在)	792 人
-------------------------	-------

年度	企業訪問等	その他	合計
R5	1,124 件	1,301 件	2,425 件
R4	1,434 件	1,270 件	2,704 件

(4)職場実習の実施

年度	対象者数	延べ日数
R5	30	133
R4	28	119

実習先	対象者数
敬寿会相模原敬寿園	2
ミヤジフーズ(株)	1
GH ゆらり相模原	1
相模原市勤労者福祉サービスセンター	13
けやきカフェ	11
日建リース工業(株)はーとふる農園	2

(5)就労援助センター利用状況

ア 新規相談者数と新規登録者数の状況

年度	新規相談者数	新規登録者数
R5	124	115
R4	142	104

イ 新規相談者の状況

① 所属別

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	不明	合計
R5	2	12	63	29	17	1	124
R4	3	16	62	41	20	0	142

② 障害別

単位:人

年度	知的障害	身体障害	精神障害	その他	合計
R5	52	14	55	3	124
R4	48	18	71	5	142

③ 年齢別

単位:人

年度	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50歳以上	不明	合計
R5	22	35	29	21	17	0	124
R4	31	28	28	33	22	0	142

ウ 新規登録者の状況 <所属別>

単位:人

年度	地域作業所	施設	企業	在宅	在学	合計
R5	0	10	82	23	0	115
R4	0	12	70	22	0	104

<参考> 令和6年3月31日現在の登録者数 1219人

エ 就労準備プログラムの実施

年度	延べ参加者数	講座回数	主な内容
R5	13	4	相模原市勤労者福祉サービスセンターでの職場体験
R4	10	4	相模原市勤労者福祉サービスセンターでの職場体験

(6)無料職業紹介事業

年度	事業所登録数	求人件数	求職票提出件数	紹介件数	就職件数
R5	14	26	115	26	26
R4	15	22	103	22	22

(7)その他の事業

ア 職場対人技能訓練(JST講座)の実施

実施日	参加者数	内 容
8月20日	3	求職活動中及び就労中の方向けのJST講座①
9月18日	3	求職活動中及び就労中の方向けのJST講座②
10月9日	3	求職活動中及び就労中の方向けのJST講座③

イ 就労援助センター情報の発行

発行月	配布先
5月・8月・12月	就労援助センター登録者

ウ フォローアッププログラム(余暇的定着支援)の実施

実施日	参加者数	実施方法	内 容
7月17日	9	対面	「カラオケ」
9月18日及び 10月15日	3	対面	応援メッセージを作ろう
12月17日	7	対面+ オンライン	「体を動かそう ～ちょっとした時間にできるストレッチ～」
1月21日	19	外出	「ボウリング大会」
3月17日	7	外出	おでかけをしよう

エ 関係機関等主催会議への参加

日 時	参加回数	実施方法	内 容
5月11日ほか	10	対面式	NPO 法人障害者雇用部会 定例会等への参加
7月4日ほか	6	対面式	さがみはら精神障害者就労支援協議会への参加

オ けやき体育館との連携

① 障害者地域就労援助・けやき相談センターにおける就労支援の実施

年度	新規相談件数	継続相談件数
R5	43	258
R4	28	68

② 就労援助センター登録者の集まり「さんさんサロン」の実施

年度	日 時	実施回数	参加者数	内 容
R5	6月18日ほか	9	36人 (延べ数)	居場所としての活用。日常のできごとなどの話をしたり、けやき体育館内で当日行われている行事への見学や参加など

カ 大学等、在学中の学生支援に関する連携と支援

年度	訪問等回数	連携先
R5	3	相模女子大学、嘉悦大学、駒澤大学
R4	2	相模女子大学

キ 外部研修講師等対応

依頼元	実施日	内 容
独)高齡・障害・求職者 雇用支援機構 雇用 開発推進部	6月22日 (収録日)	令和5年度オンライン形式による障害者職業生活相談員 資格認定講習(本部開催)「職場における人間関係とコミ ュニケーション」
独)高齡・障害・求職者 雇用支援機構 神奈 川支部	7月19日 12月6日	障害者雇用支援連絡協議会 委員
独)高齡・障害・求職者 雇用支援機構 神奈 川支部	8月2日 ほか2回	令和5年度障害者職業生活相談員資格認定講習(神奈 川支部開催)「人間関係管理と生活指導」
社会福祉法人相模原 市社会福祉事業団	9月5日	令和5年度手話初級講座「障害福祉の基礎知識」講師
相模原市発達障害支 援センター	1月26日	令和5年度「就労準備セミナー」講師
独)高齡・障害・求職者 雇用支援機構 職業リ ハビリテーション部	2月19日 (打合せ日)	雇用と福祉の分野横断的な基礎的知識・スキルを付与 する研修 研修教材内容の確認対応

5 障害者支援センター

(2)障害者就業・生活支援センター事業

1 事業概要

就職を希望する障害者や在職中の障害者に対して、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行った。

企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図るとともに、就職支援に係る支援計画の作成を順次行い、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。また、電話やオンラインツールの活用を継続し、障害者、企業、関係機関の円滑なつながりを支援するとともに、新しい働き方を考慮した企業等の支援の充実を図った。

なお、「就労援助センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行っている。

2 事業内容

(1)事業所開拓の状況 ～ (6)無料職業紹介事業 については、
5-(1)障害者地域就労援助センター事業の内容を参照(P.25～29)

(7)地域の就労支援力の底上げのためのネットワーク形成・セミナー等

名称	主催	実施日	開催方法	出席者	内容
雇用移行推進連絡会議	当センター (ハローワーク相模原と共催)	5月16日ほか計8回 (8月を除く5～2月、第2火曜日)	対面+オンライン(けやき体育館)	33機関 (構成機関)	地域における関係機関とのネットワーク形成のための会議、交流会として、ハローワーク相模原と連携し、情報交換を行う
就労援助セミナー	当センター	12月8日	対面式(松が丘園)	9機関 12名	「職場における人間関係」をテーマにした研修の講師等
中小企業における障害者支援担当者に対する支援	相模原青年会議所	10月18日	対面式(けやき体育館)	28名	企業における合理的配慮と権利擁護についての研修
神奈川県障害者就業・生活支援センター連絡会議	県央障害者就業・生活支援センター	9月1日 3月1日	対面式(海老名市文化会館)	各回、県内8センターから各2～3名	各センターの取組状況についての意見交換、ケース検討等
会社説明会及び職場体験実習面接会「サガジョブ」	相模原青年会議所	5月24日	対面式(産業会館)	35社 70名 (延べ数)	会社説明会と職場体験実習面接会のコーディネート

(8)職場定着及び就労促進に係る効果的な支援メニューの実施

ア 交流会の実施

実施日	参加者数	実施方式	内容
10月28日	23名	対面式	「楽しみ」「休日」「好きな場所」について

12月18日	7名	対面式	日常行っている運動について
1月21日	19名	対面式	新年の抱負について
3月17日	7名	対面式	上手な写真の撮り方について

イ ピアサポート活動の実施

実施日	参加者数	実施方式	内 容
10月28日	10名	対面式	「楽しみ」「休日」「好きな場所」について

ウ 移動相談の実施

実施日	相談者数	実施場所	内 容
毎週水曜日 (計49回)	63名	緑区合同庁舎	緑区在住者向けの新規相談及び継続相談実施
6月5日ほか (計4回)	7名	津久井保健センター	緑区津久井地区在住者向けの新規相談及び継続相談実施

(9)障害者就業支援アドバイザーの設置

日 時	実施場所	内 容
5月19日 2月24日	松が丘園	鍋木宏氏(精神嘱託医)から、個々の精神疾患に係る対応方法について担当職員が助言を受けた。

(10)国等が主催する会議・研修等への出席

日 時	主催	実施方式	内 容
10月11日	神奈川県労働局	対面式	障害者就業・生活支援センター都道府県センター連絡会議
11月14日	山梨労働局	オンライン	障害者就業・生活支援センター南関東ブロック経験交流会議
7月11日～14日	独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	オンライン	障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修
7月12日～14日	独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	対面式	障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修
11月28日～12月1日	独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	オンライン	障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修

(11)その他

ア 地域連携のためのワンストップ相談

日 時	実施場所	内 容
6月28日 10月25日 12月27日	ハローワーク相模原	ハローワーク相模原、神奈川県障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターの連携による相談

イ 合同面接会

日 時	実施場所	主催	参加者	内 容
9月8日	ソレイユさがみ	ハローワーク相模原	企業:13社 求職者:延べ74名	求職者の就職の機会確保と企業理解促進を目的として実施
11月29日	けやき体育館	ハローワーク相模原	企業:6社 求職者:延べ27名	求職者の就職の機会確保と企業理解促進を目的として実施

5 障害者支援センター

(3)地域障害者施設支援事業

1 事業概要

障害福祉に関する幅広い研修を体系的に行うことにより、市内福祉従事者の支援技術の向上に寄与した。また地域住民・障害福祉関係者を対象に、障害福祉に関する意識啓発、事業団についてのPR等を目的に映画『くちづけ』上映会を開催した。障害福祉サービス事業所等の人材確保・育成・定着、障害者の活動の場、福祉的就労の場でもある障害福祉サービス事業所等の工賃アップに向けた支援を地域、行政と連携し行った。

2 事業内容

(1)福祉研修センター事業

ア 主催研修の実施

感染症対策を講じつつ、年度始めから数年ぶりに対面開催とした。令和4年度末に研修参加者を対象にしたアンケートの意見(研修希望テーマ等)を取り入れた運営をすることにより、受講者数が大幅に増加した。

年度	開催回数	参加者数	主な内容
R5	69回	2,073人	・障害福祉基礎研修 20回 ・支援技術向上研修 15回 ・その他研修 25回 ・障害当事者・家族・市民向け研修 9回
R4	56回	1,456人	・障害福祉基礎研修 20回 ・支援技術向上研修 13回 ・その他研修 17回 ・障害当事者・家族・市民向け研修 6回

※令和5年度実施状況の詳細は巻末の研修一覧表参照

イ 研修受講履歴カードと研修受講修了証の交付

年度	説明会参加者数	研修受講履歴カード作成数	修了証作成・交付人数
R5	7人	64件	13人
R4	6人	45件	13人

ウ 研修情報の集約と発信

福祉研修センターが主催する研修のほか、関係機関・団体等が開催する障害福祉関連の研修情報を取りまとめ、毎月1回「研修情報定期便」として、障害福祉サービス事業所に情報提供を行った。周知方法としては、E-MAIL、メール便を主に活用した。FAXを活用した周知方法については、受信側にとって不都合な面もあったため、年度後半は控えることになった。これにより昨年度よりは実績が減少している。

年度	年間件数(うち外部研修実施機関)	配布事業所数
R5	224(16)件	5,392か所
R4	155(13)件	6,544か所

エ 福祉研修センター事業 意見交換会

市内の障害福祉団体及び障害福祉関係者に学識経験者を交えて、「入門コース」開設をめざし、意見交換会を実施し、次年度本格的に開設する準備ができた。また「福祉研修センター運営指針」も作成した。

オ 研修に関する企画支援

市内の障害福祉サービス事業所・団体等で開催する研修の企画支援を実施した。緑区の合同研修会の企画・運営支援を行った。また、団体等の要望に応じ、事業団職員を研修講師、演習講師として派遣をした。福祉研修センター主催の研修については、多くの事業団職員が講師等担った結果、大幅な実績増となった。

①研修実施支援

年度	回数	相談内容
R5	24回	講師選定、研修企画、研修の実施方法等
R4	24回	講師選定、研修の周知方法等

②派遣実績

年度	回数	主な派遣先
R5	70回	神奈川県 ほか
R4	40回	神奈川県 ほか

カ 強度行動障害支援者養成研修

市の委託事業として、県の事業者指定を受けて強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を実施した。また、強度行動障害に係る研修講師及びファシリテーター育成のため先駆的な取組を実施している他市と協働し、人材育成プロジェクトチームを結成した。

年度	実施日				会場		
R5	11月21日(火)、11月22日(水)				障害者支援センター松が丘園 研修室		
	講義数	講師人数	ファシリテーター	サブファシリテーター	申込者数	受講者数	修了者数
	12	12人	9人	3人	82人	53人	53人
R4	11月21日(月)、11月22日(火)				障害者支援センター松が丘園 研修室		
	講義数	講師人数	ファシリテーター		申込者数	受講者数	修了者数
	12	12人	9人		53人	52人	52人

*R5 年度 申込者数/受講者数/修了者数 市内特別支援学校教職員 3 名含む
 受講者数/修了者数 サブファシリテーター3 名含む

(2)障害福祉サービス事業所等人材確保事業

けやき体育館に設置した「就職情報コーナー」について、「研修情報定期便」にて募集チラシを送付した。市内障害福祉サービス事業所に周知した。

(3)工賃アップ支援事業

市内の障害福祉サービス事業所等が生産活動を充実し、利用者の工賃アップにつながるための支援を行った。

ア 受注作業・自主製品作業紹介事業

官公需の受注や市内の企業への訪問などによる作業の開拓を行う受注調整窓口を設置し、受注を希望する障害福祉サービス事業所等へ作業の紹介を行った。企業からの依頼や農家からの依頼を受け、行政(市農政課)とのつながりを持ち、今後の農福連携への道筋ができた。

また、自主製品の販売会を多数行うことで、売上とともに、利用者の社会参加、地域との連携につながった。

年度	紹介件数	主な内容
R5	989	除草作業、ポスター・チラシ、点字名刺、唐辛子のへたとり、尿検査キット封入発送業務、横断幕作成、看板、植木作成、公園のカギの施錠、情報処理、カバン作成、子育て家庭食材配布業務
R4	736	プラスチック箱折り作業、除草、クリーニング後のたたみ、ペットフー

		ドの袋詰め、公園清掃、スリッパの組み合わせ作業、駅トイレ清掃、里芋の皮むき、枝豆のもぎ取り、ポストイング、ごみの分別、段ボール潰し、ネット販売の梱包・発送、ほか
--	--	--

イ バオバブ・福祉ショップあおば・麦の穂・販売会年間売上額 単位:円

年度	ハンドメイド ショップ バオバブ (あじさい会館)	福祉ショップ あおば (ユーコープ 並木あおば店)	麦の穂 (松が丘園)	合 計
R5	14,659,210	755,070	340,570	15,754,850
R4	11,545,340	670,970	340,810	12,557,120

ウ 工賃アップセミナーの実施

障害福祉サービス事業所等の職員を対象に、自主製品の販路拡大、地域産業等との連携、工賃向上のための組織づくり等をテーマに7回開催した。

エ 生産活動に関する情報交換会の開催

工賃アップセミナーに参加した事業所職員を対象に、セミナーに参加後事業所での工賃アップの取り組みについての情報共有および課題共有の場となった。

オ 市内受注作業希望一覧表の作成

相模原市内障害福祉サービス事業所の受注可能作業一覧表を作成し、相模原市ホームページおよび事業団ホームページに掲載した。

カ 農福連携に関する作業開拓

「農福連携」をテーマに工賃アップセミナーを実施し、行政と連携しながら、障害福祉サービス事業所と農業とをつなぐきっかけとなり、受注作業紹介の取り組みを行った。

キ 障害福祉サービス事業所等の活動内容等の普及啓発

あじさい会館ロビーにて、「障作連アート展」・「バオバブ写真展」を実施し、市民が活動内容を理解するきっかけとなった。

ク 就労系障害福祉サービス事業所への官公需における優先調達の支援

市内受注作業希望一覧表を基に、市からの発注件数が増加し、イベントでの横断幕、看板等作成や公園の管理等作業内容の幅が広がった。

ケ 就労援助センターと連携した作業開拓

市内物流会社からの作業開拓を通じて、就労援助センターに就労の機会を紹介した。

(4)地域作業所等の運営に関する支援・相談事業

年度	運営相談件数	地域活動支援センター等 運営委員会への出席回数	事務機器の提供件数
R5	0件	1回	6件
R4	0件	1回(書面会議)	27件

(5)団体への支援

相模原市障害者地域作業所等連絡協議会・相模原福祉オンブズマンネットワーク

年度	会議等の開催回数	事業等の支援回数
R5	76回	82回
R4	68回	31回

ア 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会

① 地域との連携

- ・市内小売業との連携により、障害当事者がフラワーアレンジメントのワークショップに参加し、当事者の社会参加を促進した。
- ・青山学院大学・橋本高校等の学園祭において、販売会に参加し、自主製品の販売を通じて、学生との交流を図った。
- ・こども食堂との連携を図り、「さがみはらこどもサミット」にて販売会に出店し、障害者理解を深めた。

② 当事者向け講座

- ・青山学院大学吹奏楽部愛好会の演奏会に招聘され、音楽を通じて、交流できる機会となった。
- ・「旅する紙コップ」に参加し、紙コップをつなぐことで、紙コップを積み重ねることにより、繋がり
の強さを体験し、人とのつながりの大切さを学ぶきっかけとなった。

③ 当事者交流会

- ・バオバブで活躍する当事者向けに交流会を実施し、障害当事者同士のネットワークづくりに寄与した。

イ 相模原福祉オンブズマンネットワーク)

- ・当事者交流会を対面で開催し、会員施設の当事者およびオンブズマンの交流が図れた。

(6)松が丘園通信の発行(再掲 P6)

発行月	配布先
4月・6月・8月・10月・12月・2月	障害福祉サービス事業所・行政機関等の関係機関

5 障害者支援センター

(4)手話通訳者等養成事業

1 事業概要

手話は、ろう者の意思疎通及び情報の取得又は利用のための手段としての言語であるとの認識に基づき、手話の普及および手話通訳者の人材育成を行った。また、市内における手話通訳者数の増加に繋がる事業として、中級応用講座を実施し、フォローアップ講座と中級基礎の中間層に向けたニーズ把握をし、継続的な学習の場の機会を図り、フォローアップへ進む礎となった。

難聴者、中途失聴者のコミュニケーションを円滑にし、社会参加促進を目的として、要約筆記の普及及び要約筆記者の人材育成を実施した。また、要約筆記の理解を広めるために、要約筆記者養成講座体験会を実施した。参加者の中には、令和6年度の要約筆記者養成者講座を受講する人もおり、受講者増加に繋がった。

2 事業内容

単位:人

年度	内容	受講者数	修了者数
R5	手話講座・初級(入門) (金曜日 19:00~21:00・全31回)	31	30
	手話講座・中級(基礎編) (火曜日 10:00~12:00・全36回)	32	28
	手話講座・中級(応用編) (月曜日 19:00~21:00・全30回)	19	17
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全38回)	9	6
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	5	5
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	7	6
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00~12:00・全43回)	5	4
R4	手話講座・初級(入門) (火曜日 10:00~12:00・全31回)	35	28
	手話講座・中級(基礎編) (金曜日 19:00~21:00・全36回)	32	28
	手話講座・中級(応用編) (月曜日 19:00~21:00・全15回)	5	
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00~12:00・全38回)	9	6
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	2	2
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (令和3年度木曜日 10:00~12:00・全10回) (令和4年度木曜日 10:00~12:00・全43回)	8(令和3年度) 4(令和4年度)	6(令和3年度) 4(令和4年度)
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (令和3年度木曜日 10:00~12:00・全10回) (令和4年度木曜日 10:00~12:00・全43回)	2(令和3年度) 4(令和4年度)	1(令和3年度) 3(令和4年度)

5 障害者支援センター

(5)基幹相談支援センター等事業

1 事業概要

地域における相談支援の中核的な役割を担うため、総合的かつ専門的な相談支援を行うとともに、人材育成の取組、関係機関とのネットワークの構築、相模原市障害者自立支援協議会の運営等を行った。

2 事業内容

(1)基幹相談支援センターの運営

ア 総合相談・専門相談

地域の相談支援の拠点として障害の種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援を実施した。

単位:件

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 5	9,254	385	977	517	130	488	276	4,750
R 4	10,711	445	1,416	907	225	327	435	3,899

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	ピアカウンセリング	その他の支援	支援に関わる関係機関との連絡調整	合計
R 5	468	17	150	1	500	4,281	22,194
R 4	609	23	316	0	1,372	4,484	25,169

※件数は、「2 障害者支援センター相談支援事業所」(P.10記載)に係る相談を含む

イ 虐待防止・権利擁護に関する研修

相模原市内の支援者等に対し、虐待防止・権利擁護の意識向上を図るための研修を実施した。

年度	開催回数	内 容
R5	6	従事者コース(4回)、利用者向け研修、民生委員向け研修
R4	6	従事者コース(4回)、管理者向け研修、家族向け研修

※福祉研修センター研修一覧表再掲

ウ スーパーバイザー派遣事業

地域の相談支援事業所等が行う相談支援において専門的な助言が必要な場合に、主に電話を活用し、支援方法の検討・助言、情報提供を行った。

年度	内 容	件数
R5	支援方法の検討・助言、情報提供	135
R4	支援方法の検討・助言、情報提供	132

エ 基幹相談支援センタースーパーバイズ研修

相談支援専門員の地域リーダーを養成するための研修を実施した。

年度	内容	回数
R5	相模原市の地域課題について考えよう	1
R4	包括的支援体制整備事業について相模原市の取組を学ぶ	1

※福祉研修センター研修一覧表再掲

オ 基幹相談支援センター相談支援専門分野研修

専門的な知識を基にした相談支援方法等を学ぶための研修を実施した。

年度	内容	回数
R5	ソーシャルワークアプローチ研修	1
R4	ソーシャルワークアプローチ研修	1

※福祉研修センター研修一覧表再掲

カ 相談支援専門員研修への運営協力

相談支援従事者研修の実践指導者を養成するとともに、地域に根ざした相談支援専門員を育成するため、神奈川県が実施する相談支援従事者研修へファシリテーターを派遣した。

年度	内容	コース数・派遣人数
R5	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	2コース 3名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	2コース 3名
R4	相談支援専門員初任者研修へのファシリテーター派遣	1コース 1名
	相談支援専門員現任研修へのファシリテーター派遣	2コース 2名

キ 相談支援従事者初任者研修受講者への強化研修

相談支援従事者初任者研修受講者に対し、相談支援に係る基本的な理解を深めるとともに、受講者等のネットワークを構築し連携を強化するための研修を実施した。

年度	内容	回数
R5	研修課題に対する助言及び相模原市における相談支援体制等について	2
R4	研修課題に対する助言及び相模原市における相談支援体制等について	3

ク 実践報告会

所内相談支援専門員の相談支援技術向上のため、相談支援における実践や新たな知識、技術などを伝える実践報告会を実施した。

年度	内容	回数
R5	実践報告会	5
R4	実践報告会	5

ケ 相談機関等とのネットワーク強化の取組

相談支援事業所等に対し、情報提供や情報収集を行った。

年度	内容	件数
R5	事業所等への訪問・来所・電話等対応	113
R4	事業所等への訪問・電話・オンライン等対応 ※コロナウイルス感染拡大防止のため、訪問以外の取組を行った	119

コ 相談支援事業所等支援の取組

相談支援専門員等に向けて、障害福祉サービス事業所等の施設情報や空き情報等を掲載し、相談支援業務のサポート等を行った。

年度	内容	件数
R5	事業所等の空き情報の更新	206
R4	事業所等の空き情報の更新	198

(2)相談支援体制整備事業

相模原市障害者自立支援協議会を相模原市と協働運営し、地域における安心した暮らしを支えるため、障害福祉に従事する者や障害当事者、家族等が支援体制の整備に向けた検討や取組を行った。また、組織体制を見直し、より効率的に地域課題を検討した。

年度	開催回数	内容
R5	51	全体会議 運営会議（*） 権利擁護・虐待防止検討部会（*） 人材育成部会（*） 区課題検討会（緑区・中央区・南区）（*） 研修
R4	61	全体会議 運営会議（*） 権利擁護・虐待防止検討部会（*） 地域課題調整部会（*） 人材育成部会（*） 区課題検討会（緑区・中央区・南区）（*） 研修

*はワーキングチーム活動含む

(3)社会生活力を高める事業

ア 生活力アップ講座

障害当事者のエンパワメントの促進や本人と家族が地域で安心して生活するため、各種講座をオンラインも活用して実施した。

※エンパワメント:障害のある方の長所、強さに着眼し、障害当事者の希望に向けて支援者と相互に力を高めながら主体的に取り組めるようになること

年度	開催回数	延べ参加人数	内容
R5	5	48	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座（*） 自立促進当事者ミーティング（*） 家族支援講座（*）
R4	4	56	社会生活技能訓練(SST)講座 身を守る講座（*） 自立促進当事者ミーティング（*）

*は福祉研修センター研修一覧表再掲

イ 意思決定サポート事業

意思形成サポートとして、当事者が新たな環境で過ごすイメージ作りのためにオンラインも活用しグループホーム見学を実施した。また、市内相談支援事業所及び医療従事者に向け、地域移行支援の普及啓発を目的とした研修を実施した。意思表出サポートでは、令和元年度から令和4年度にかけて、重症心身障害児者を支援する事業所にヒアリングした内容をまとめたものについて、重症心身障害児者ネットワークで報告した。

年度	内容	合計
R5	オンライングループホーム見学	44人
	総合支援法における地域移行支援について学ぼう	19人
	地域生活体験講座(当事者向け)	3人

	意思決定支援の取組に関するヒアリング調査の報告	1回
R4	オンライングループホーム見学	71人
	地域移行について考える(当事者向け)	1人
	地域生活について考える(当事者向け)	3人
	ピアサポーターと考える地域移行支援(医療職向け)	25人
	重症心身障害児者の意思決定支援の取組に関するヒアリング調査	3事業所

(4)関係機関等との連携

内 容	参加回数
相模原市権利擁護支援のための地域連携ネットワーク協議会	3
地域移行に係る医療機関と地域の支援機関の意見交換会	2
中央区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議	2
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連絡会議	2
相模原市医療的ケア児等支援地域協議会	2
基幹相談支援センター及び主任相談支援専門員連絡会	1
相模原市ひきこもり支援ネットワーク連絡会	1
高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会	1
地域福祉ネットワーク会議	1
北里大学病院トータルサポートセンター交流会	1

6 障害者一時ケア事業

1 事業概要

障害児・者の家族が、通院や冠婚葬祭のため家庭内での介護が一時的に困難な場合や日ごろの介護疲れを解消し休息やゆとり(レスパイト)をとるため、障害児・者を一時的に介護した。

新型コロナ等の感染症対策に留意し、利用者が安全で、安心して過ごせる環境を提供した。また、スタッフには健康管理と衛生管理を徹底し、利用者の家庭にも日ごろの健康管理や、利用開始時の検温等健康チェックの協力を依頼した。

2 事業内容

(1)登録状況(3月末日現在)

ア 登録者の状況

年度	登録者数	うち新規登録者数
R5	304	8
R4	305	19

イ 障害別の登録者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R5	6	64	113	121	0	304
R4	7	69	111	118	0	305

ウ 年齢別登録者数

単位:人

年度	6~11歳	12~14歳	15~17歳	18~30歳	31歳以上	合計
R5	22	32	27	144	79	304
R4	46	30	29	131	69	305

(2)利用状況

午前8時30分から午後10時まで開所した。

ア 利用者の状況

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R5	356	926	2.6人	6時間13分
R4	356	1,067	3.0人	6時間05分

<休日の状況(内数)>

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R5	113	737	6.5人	6時間52分
R4	113	778	6.9人	6時間51分

イ 障害別の延べ利用者数

単位:人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他	合計
R5	0	245	473	208	0	926
R4	0	210	533	324	0	1,067

※その他は精神障害等

ウ 年齢別延べ利用者数

単位:人

年度	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～30歳	31歳以上	合計
R5	38	53	33	549	253	926
R4	53	74	53	615	272	1,067

(3)医療的ケアの必要な利用者の利用状況

年度	利用実人数	延べ利用者数	医療的ケア実施回数
R5	5	13	12
R4	15	74	284

(4)複数の職員で対応する場面のある利用者の利用状況

年度	対象者数	延べ利用者数
R5	25	289
R4	16	156

(5)登録者及び家族への情報提供

レスパイト便りの発行:年1回(10月)・302部

(6)職員研修の実施

利用者の個々のニーズに合わせたケアを行うため、職員の知識や技術の向上を目的に、非常勤職員等を対象にした研修会を実施した。

年度	回数	延べ参加者数	内容
R5	15	121	○「権利擁護・虐待防止」をテーマにしたスタッフ研修を行い、19人が参加した。 ○ケアの質の向上、情報共有等を目的とした「スタッフ懇談会」を計3回(延べ60人参加)行った。 ○コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計11回(延べ42人参加)行った。
R4	25	148	○「権利擁護・虐待防止」をテーマにしたスタッフ研修を計4回実施し、47人が参加した。 ○法人研修「虐待防止・記録の書き方と取り扱い」を計3回実施し、30人が参加した。 ○コーディネーター等で共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計18回(延べ71人参加)行った。

(7)非常勤職員向け情報紙の発行

事業実施にあたっての最新情報(トピックス)、ケアにおける必要な知識、スタッフのケアへのモチベーション向上を目指して利用者からの声などを掲載した情報紙「ケアの達人」を発行し、一時ケア事業について意思統一を図り、事故防止に役立てた。(年1回・計50部)

(8)障害者一時ケア事業所連絡会の実施

市内の障害者一時ケア事業所の利用者の安全確保を目的に、各事業所における新型コロナウイルス感染症への対策や事業実施状況と課題を共有した。

実施月	内 容	参加事業所等
7月	・各事業所の事業実施状況と課題等 ・利用者対応に関する情報交換	相模原市高齢・障害者支援課 松が丘園一時ケア事業
2月	・各事業所の事業実施状況と課題等 ・災害時の対応等事業実施に関する情報交換	ふれあいデイホーム もみの木ホーム

7 発達障害支援センター就労支援事業

1 事業概要

発達障害者及びその家族並びに企業に対し、就労及び雇用に関する相談、指導、情報提供を行う事業を実施することにより、発達障害者の就労支援及び雇用促進を図った。

また、企業開拓、求人情報と求職者のマッチング機会の拡大、職場定着支援の効率化などを図るとともに、各種評価手法を活用したアセスメント機能の充実を図り、就職支援に係る支援計画の作成、地域の支援機関への情報提供の拡充等、障害のある方の多様なニーズに応える就労支援を行った。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」、「障害者就業・生活支援センター事業」及び「無料職業紹介事業」との一体的な運営により就労支援を行った。

2 事業内容

(1)実施状況(障害者地域就労援助センター事業報告の一部再掲)

年度	相談件数(延べ件数)	相談人数(延べ人数)	就労者数
R5	1,283	668	11
R4	1,234	664	9

*就労継続支援A型事業所への就労者は含まない

(2)ケース検討会・発達障害支援センター支援検討会議への出席

年度	出席回数
R5	52
R4	52

(3)発達障害支援センターでのインテーク面接対応件数

年度	対応件数
R5	2
R4	6

(4)職場対人技能トレーニング(JST)等の実施

発達障害支援センターと共同で、発達障害のある方に職業的スキルの獲得を目的に「職場対人技能トレーニング(JST)」「職場体験実習」「職場体験実習振り返り」をグループワークで実施した。

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R5	2	5
R4	2	4

(5)就労準備セミナー

ハローワーク相模原との共催にて3回実施した。

日時	内容	参加者
12月14日	職業自立のための保護者セミナー	92
1月26日	知っておきたい障害者雇用について～自分にあった働き方を見つけるために～	67
2月20日	就労支援機関合同面接会	19

(6)職業評価の実施

ワークサンプル幕張版(作業を通して職業適性・就労能力・特性把握を行うための評価検査、略称:MWS)を活用した職業評価を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R5	8	8
R4	11	11

自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール(知的障害のある自閉症者を対象に、地域生活に必要なスキルの評価を行う検査・略称:TTAP)を実施した。

年度	延べ実施日数	実施人数
R5	4	4
R4	2	2

職員の職業評価技術向上のため、職場内研修を実施した。また、7月には職業センター職員を講師として招いたMWS職場内研修を実施した。

TTAP 職場内研修	3回
MWS 職場内研修	3回

(7)関係機関等との連携

内 容	参加回数	日 時
発達障害者支援地域協議会 本会議	2	第1回 7月6日 第2回 11月16日
発達障害者支援地域協議会 成人期部会	2	第1回 9月12日 第2回 12月22日
学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業インクルーシブ・プログラム開発事業連絡協議会	3	第1回 7月4日 第2回 11月18日 第3回 2月3日

8 障害者相談支援キーステーション事業

1 事業概要

相模原市における重層的かつ総合的な相談支援体制の中で、中圏域をカバーする相談支援の場として、緑区と南区にある障害者相談支援キーステーションの運営を行った。

2 事業内容

(1) 緑障害者相談支援キーステーションの状況

ア 実施内容

場所	緑区合同庁舎2階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	緑区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区在住の障害者の総合的な相談窓口 ・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など) ・区内関係機関の調整

イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人かながわ共同会	1名	週5日
	社会福祉法人かわせみ会	1名	週5日

ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 5	2,809	84	1,707	244	186	1,245	812	1,011
R 4	2,672	107	1,722	311	74	1,285	653	864

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R 5	516	132	160	55	2,816	11,777
R 4	609	103	179	14	2,751	11,344

(2) 南障害者相談支援キーステーションの状況

ア 実施内容

場所	南保健福祉センター1階
開所時間	午前8時30分から午後5時まで(平日)
対象者	南区在住の障害者及びその家族、関係者等
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・区在住の障害者の総合的な相談窓口 ・継続的な相談支援(福祉サービスにつながりにくい、支援が難しい方など) ・区内関係機関の調整

イ 運営

運営について複数法人で協力することにより、相談支援業務の標準化に向け中立公平な視点を持ったチーム支援を実施し、法人間の連携を強化した。

	法人名	相談員配置	
運営主体	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団	1名	週5日
運営協力	社会福祉法人かむ	1名	週5日
	社会福祉法人県央福祉会	1名	週5日
	社会福祉法人すずらんの会	1名	週5日

ウ 事業実績

障害種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を行った。

年度	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒の安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援
R 5	3,128	637	1,074	1,463	67	1,200	363	1,885
R 4	2,765	601	1,304	1,766	72	1,424	271	2,267

単位:件

年度	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他の支援	支援に係る関係機関との連絡調整	合計
R 5	851	67	113	79	1,785	12,712
R 4	688	130	46	67	1,627	13,028

(3) ケース会議、グループスーパービジョンの実施回数

官民協働のチームで包括的に支援することを目的に、所在区の高齢・障害者相談課、福祉相談センターとケース会議を行った。また、支援困難ケース等に対し、福祉の枠組みだけではない新たな支援方法や地域課題の抽出、官民協働、民民連携を目的に、オンラインを活用しグループスーパービジョン(支援者間でケースに対し意見を出し合い、良い解決策や対応方法を検討する会議)を行った。

年度	ケース会議		グループスーパービジョン	
	緑	南	緑	南
R 5	39回	42回	12回	12回
R 4	47回	45回	12回	12回

(4) 面接トレーニング

面接技術向上を目的に、面接場面のロールプレイをビデオ撮影し、それを基に振り返りを行った。

年度	面接トレーニング
R 5	4回
R 4	4回

(5) 相談支援事業所支援

区内の相談支援力向上を目的に、支援困難ケース等に対応する相談支援事業所に対して、支援方法及び考え方の検討や助言などの支援を行った。

年度	緑	南
R 5	41件	25件
R 4	36件	27件

(6)弁護士による助言相談

神奈川県弁護士会と連携し、支援方法等について法的な視点から助言を受ける取組を行った。

年度	助言相談
R 5	2 件
R 4	0 件

(7)医療的ケア児等コーディネーターの配置

医療的ケア児とその家族が安心して豊かな生活を送ることができるよう、総合的かつ包括的な支援の提供につなげる職員を配置し、面談、訪問などを行った。

年度	新規相談対応件数	
	緑	南
R 5	6 件	2 件
R 4	7 件	8 件

※中央区の相談を含む

(8)関係機関等との連携

内容	参加回数	地区
民生委員児童委員協議会定例会（津久井、橋本、藤野、大沢、城山、相模湖）	6	緑
橋本地区地域ケア会議個別事例部会	3	緑
緑区地域精神障がい者支援ネットワーク会議	2	緑
精神保健福祉関係機関情報交換会	2	緑
福祉カーニバルin橋本(仮称)実行委員会	1	緑
南区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	9	南
東林地区地域ケア会議地域づくり部会	4	南
精神障害者支援機関ネットワーク会議	3	南
精神保健事例検討会	1	南
重症心身障害児者ネットワーク会議	4	両
地域福祉ネットワーク会議	1	両
相模原市医療的ケア児等地域支援協議会	2	両
県・政令市医療的ケア児等コーディネーター連絡会議	2	両

9 けやき体育館

(1)けやき体育館管理・運営事業

1 事業概要

体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室の各室を、障害者団体の優先利用を基本原則として貸出しを行った。貸出しに当たっては、障害のある人が自主的かつ積極的にスポーツやレクリエーション活動が楽しめるよう支援した。

けやきカフェの運営については、けやき体育館来館者に食事と憩いの場の提供など利便性向上のほか、就労を目指す障害者を対象にした就労体験実習の場としての活用を図り、障害者の社会参加を支援した。

また、「障害者地域就労援助・けやき相談センター」の設置による障害者地域就労援助センター事業の機能強化など障害者支援センター松が丘園との連携事業を実施した。

2 事業内容

(1)利用回数・利用率

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R5	利用回数	930	673	737	369	472	3,181
	(うち減免利用)	(744)	(427)	(505)	(235)	(318)	(2,229)
	利用率	87.1%	63.0%	69.0%	34.6%	44.2%	59.6%
R4	利用回数	942	582	538	300	427	2,789
	(うち減免利用)	(771.5)	(348)	(424)	(176)	(319)	(2,038.5)
	利用率	88.5%	54.6%	50.5%	28.2%	40.1%	52.4%

(2)利用延べ人数

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R5	利用人数(延べ)	22,635	5,723	8,492	3,253	6,860	46,963
	(うち障害者)	(8,880)	(2,017)	(2,873)	(846)	(2,163)	(16,779)
R4	利用人数(延べ)	19,484	4,686	6,203	2,455	4,908	37,736
	(うち障害者)	(8,487)	(1,566)	(2,743)	(782)	(1,785)	(15,363)

(3)個人利用

内容	実施日数	大人		小人		合計
		障害者	その他	障害者	その他	
バドミントン	24	10	51	0	14	75
卓球	31	14	104	0	16	134
合計	—	24	155	0	30	209

(4)けやき体育館・けやき会館合同防災訓練の実施

ア 第1回総合防災訓練

- ① 実施日 9月14日(木)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 訓練内容 大規模地震発生及び地震発生に伴う火災想定。避難誘導、伝達・通報、及び消火器等操作訓練。

イ 第2回総合防災訓練

- ① 実施日 3月31日(日)
- ② 実施施設 相模原市立けやき体育館及びけやき会館
- ③ 訓練内容 大規模地震発生想定。伝達・通報等訓練。

(5)障害者就労体験実習の受入れ

松が丘園就労援助センターと連携し、けやきカフェにおいて、障害のある方の就労体験実習を受け入れた。

年度	日数	人数
R5	49	11
R4	37	8

(6)福祉求人閲覧コーナーでの事業所求人情報の提供

松が丘園の施設支援事業と連携し、福祉求人閲覧コーナーにおいて、けやき体育館への一般来場者に対し障害福祉サービス事業所の求人情報掲載を行った。

(7)インターンシップの受入れ

松が丘園の多機能型事業所自立訓練事業と連携し、インターンシップ(職業体験)を受け入れた。

年度	日数	人数
R5	12	6
R4	14	7

(8)けやきカフェの経営

感染症対策に取り組みながら、簡易容器によるテイクアウトを含め、けやきカフェを運営した。また、地域における公益的な取組の一環として、地域のこどもとその保護者や何らかの要因で社会と接点が少ない方などの居場所づくり、情報交換の場づくりを目的に「みんなのけやきカフェ」を実施し、低額での食事提供を行った。

ア 営業日:月曜日から金曜日まで。障害者余暇活動支援事業イベント開催時の土日臨時営業。

イ 営業時間:午前11時 30 分から午後2時まで

ウ 売上等

年度	営業日数	売上	一日平均売上
R5	247	3,952,130円	16,001円
R4	244	3,275,550円	13,424円

エ みんなのけやきカフェ(再掲P7)

単位:人

年度	日時	参加者数
R5	1月27日(土)13:00~15:00 おやつ作り①	9
	2月25日(日)10:00~12:00 おやつ作り②	12
	3月16日(土)11:30~14:00 カレーの提供 ※ 障害者余暇活動支援事業イベント 「けやき☆ひろば」同時開催	42

(9)障害者地域就労援助・けやき相談センターとの連携

ハローワーク相模原、市役所及びウェルネスさがみはらと近い立地であるけやき体育館の利便性を活かし、障害者地域就労援助センターのランチ機能として障害者就労相談の利便性向上を目的に設置した「障害者地域就労援助・けやき相談センター」において、新規の相談43件の対応を行ったほか、就労援助センターと連携した相談を258件実施した。

9 けやき体育館

(2)障害者余暇活動支援事業

1 事業概要

障害者がスポーツや余暇活動により、日常生活をより楽しんで充実できるよう、パラスポーツ大会の支援、スポーツ指導體制の整備を図るとともに、スポーツや文化講座および各種イベントを実施した。一部の講座は自宅や事業所等でも楽しめるよう利便性を図り、ZOOM によるオンラインと対面講座を同時に実施した。

2 事業内容

(1)パラスポーツ普及啓発事業の実施

東京2020パラリンピック競技大会のレガシーとして、パラスポーツ定着に向け、ボッチャ大会の開催、車いすテニスなどパラスポーツ体験会の開催のほか、「さがみはら“ゆめ”プロジェクト実行委員会」及び「共にささえあい生きる社会パラスポーツ普及啓発実行委員会」の委員として、イベントに協力した。また、地域のパラスポーツ体験会へ訪問指導を行うなど、パラスポーツの普及に努めた。

ア パラスポーツ体験会の実施

単位:人

内容	実施回数	参加者	ボランティア	合計
フライングディスク体験会&ミニ記録会	1	7	2	9
ボッチャ体験会	1	18	1	19
ボッチャ練習会(大会前の練習会)	4	56	0	56
車いすテニス体験会	1	14	3	17
車いすバスケットボール体験会	1	31	4	35
ノジマステラブース出店(ボッチャ体験:市みん なのSDGs推進課スタンプラリーに協力)	1	47	0	47
合計	9	173	10	183

イ パラスポーツ大会の実施

東京2020パラリンピック競技大会の正式種目であるボッチャ競技の大会を開催した。開催に当たっては、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できることとし、地域の方と一緒に楽しく交流できる場とした。

内容	実施日	参加チーム数
第4回ボッチャ大会～けやき杯～	11月26日(日)	19

ウ さがみはら“ゆめ”プロジェクト実行委員会

内容	実施日
第3回さがみはら“ゆめ”プロジェクト ～夏祭り～	8月15日(火)
第4回さがみはら“ゆめ”プロジェクト ～みんなで楽しくパラスポーツ～	2月10日(土)

エ 共にささえあい生きる社会パラスポーツ普及啓発実行委員会

内容	実施日
みんなでチャレンジ! わくわくスポーツフェア2023IN アリオ橋本	6月17日(土)
さがみはらスポーツフェスティバル2023	10月9日(月)

オ パラスポーツ訪問指導およびコーディネートの実施

内容	実施日
さがみの里親会 ボッチャ体験会	6月4日(日)
相模原市立上溝南中学校 福祉体験学習(ゴールボール)	6月20日(火)
和泉短期大学「障がい児・者支援の方法」「障がい者福祉論」バリアフリースポーツ講師	10月4日(水) 10月11日(水)

(2)スポーツ講座の実施

一部講座を ZOOM によるオンラインと対面の同時開催で行った。

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 ↑(対面および ZOOM によるオンライン講座)	7	97	9	52	158
元気にパワーアップ体操	5	104	0	43	147
元気にパワーアップ体操～夏休み編～ (夏季期間、動画上映による自主練習を実施)	2	8	0	5	13
楽しく♪バドミントン	2	21	8	5	34
楽しく♪卓球	2	32	4	3	39
ENJOY☆フィットネスダンス!	3	59	0	34	93
楽しく♪フラダンス	2	13	3	5	21
合計	23	334	24	147	505

(3)ふれあい文化講座の実施

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
おいしいお菓子を作ろう♪	1	14	2	2	18
おしゃれをして出かけよう♪	1	16	1	5	22
4コマ漫画を描いてみよう♪	1	9	3	5	17
お味噌の美味しいおはなし	1	7	1	4	12
楽しく♪音楽&リズム	3	34	2	18	54
ゴスペルを歌ってみよう♪	2	25	7	9	41
合計	9	105	16	43	164

(4)「きままシリーズ」の実施

運動をしたいが相手がない等の困り感を抱える障害のある人を対象に、ボランティアと一緒に「きままに○○」「ふらっとアート」を実施した。実施に当たっては、事前予約なしで、当日好きな時間に好きな時間だけ参加できる、気軽に参加できる事業として実施した。

なお、「きままに卓球&バドミントン」はニーズに応え夜間の実施を始めた。また、「きままにカラーリング&ボッチャ」、「きままにスポーツ」及び「ふらっとアート」の一部は、障害の理解促進及びパラスポーツの普及啓発を図るため、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加出来ることとした。実施に当たっては、けやき体育館利用団体や地域活動団体に協力を依頼した。

単位:人

内容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い他	合計
きままに卓球&バドミントン	12	172	59	37	268

きままに卓球&バドミントン<夜間> ※うち1回はけやきウイークに開催	10	56	16	35	107
きままに将棋デイ	12	59	23	0	82
ふらっとアート	12	56	2	25	83
きままにカローリング&ポッチャ	12	91	93	84	268
きままにスポーツ	12	135	42	34	211
合計	70	569	235	215	1,019

(5) イベントの実施

内容	実施日	障害者	その他	ボランティア	合計
押し活サロン ※障害者地域就労援助センター「さん さんサロン」開催日に同時開催	8月20日(日)	7	0	0	7
何でも♡発表会♪	2月9日(金)	12	14	2	28
合計	2日間	19	14	2	35

(6) 地域交流イベントの実施

障害の有無にかかわらず誰もが参加できるイベントや、障害者週間に合わせた「けやきウイーク」を開催した。

ア イベントの開催

単位:人

内容	実施日	障害者	その他	ボランティア	合計
科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー～手作りハイブリッドカー～ ※トヨタ自動車株式会社 トヨタ技術会 協力	12月2日(土)	10	22	3	35
けやき☆ひろば ※地域における公益的な取組「み んなのけやきカフェ」同時開催	3月16日(土)	14	22	5	41
ピエロがやってくる♪	3月27日(水)	30	26	1	57
合計	3日間	54	70	9	133

イ けやきウイークの実施

パラスポーツの普及啓発、障害及び障害のある方への理解・啓発を目的に、障害者週間に合わせ、パラスポーツ体験会や作品展示等を行った。開催に当たっては、けやき体育館利用団体や地域活動団体等に協力を依頼した。

内容	実施日	延べ人数
けやき体育館フェスタ 陸上競技(車いすレーサー)、車いすバスケットボール、ブラインドテニス、卓球バレー、ラダーゲッター、釣りっこ、フライングディスク、ブラインドサッカー、STT・スルーネットピンポン、ポッチャ アートでニュースポーツ～こねくとミノツシュ～、点字ワークショップ、ハンドサインのぬり絵、缶バッチ制作、けやきクエスト	12月8日(金) 12月9日(土)	617
缶バッチ制作、けやきクエスト(けやき体育館フェスタの参加者除く)	12月3日(日) ～7日(木)	37
車いすバスケットボール体験会	12月3日(日)	35

ふらっとポッチャ	12月4日(月) 12月6日(水)	58
ふらっとフライングディスク	12月5日(火)	8
きままに卓球&バドミントン<夜間> ※きままシリーズのうちの1回	12月7日(木)	13
合計	—	768

(7)作品募集

障害のある方がその人らしい表現に取り組める文化活動として、季節の作品を募集し、けやき体育館ロビーに展示した。

内容	作品募集期間	展示期間
春を探そう！	3月25日(土)から 5月15日(月)まで	4月1日(土)から 5月31日(水)まで
暑い夏を乗り切ろう！ 涼を求めて	6月1日(木)から 8月31日(木)まで	6月15日(木)から 9月15日(金)まで
〇〇な秋みつけた！	9月1日(金)から 11月20日(月)まで	9月20日(水)から 11月30日(木)まで
寒い冬もぽっかぽか	11月20日(月)から 2月15日(木)まで	12月10日(日)から 2月29日(木)まで

(8)自主サークル活動支援

育成講座等を通じて結成されたサークルに対し、コーディネート、自主化等の支援を実施した。

対象サークル	実施回数	延べ参加者数	
		障害者	ボランティア
手芸サークル あむあむ	11	23	11
ボウリングサークル ターキーズ	12	36	12
バスケットサークル 松が丘 BULLS	37	255	47
サッカーサークル 相模原 FC 松が丘	17	174	32
合計	77	488	102

(9)ボランティア確保に向けての動き

登録ボランティアを対象に情報交換や相互の交流を目的とするボランティア交流会を実施するなど、障害者の余暇活動を支えるためのボランティア確保に努めた。

ア ボランティア登録者数(3月末現在)

年度	登録ボランティア者数
R5	43 (うち新規登録者数 1名)
R4	43 (うち新規登録者数 6名)

イ ボランティア交流会の実施

実施日	参加者数
6月3日(土)	4名

(10)レクリエーション支援研修の実施

松が丘園 福祉研修センターとの連携事業として、障害のある方の余暇活動参加への理解、支援者の養成を目的に「レクリエーション支援研修」を開催した。コロナ禍を経たレクリエーション支援に求められるものについての講義後、近年注目を集めている「e スポーツ」を体験し、一人一人に寄り添ったレクリエーション支援について学ぶ機会とした。

実施日	参加者数
3月26日(火)	18名

(11)情報提供（再掲 P6）

「けやき体育館通信」及び事業団ホームページを活用し、障害者スポーツやレクリエーション等の情報提供を行うとともに、サークル活動・障害者団体等の活動情報提供を行った。

また、公式 X(旧 Twitter。アカウント名：けやき体育館)を利用し、即時性のある情報等の周知を行った。

ア けやき体育館通信発行 6回

イ 公式 X 投稿回数 365回

社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団 令和5年度 福祉研修センター 研修実施状況報告

【障害福祉サービス事業所等職員対象】

区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数	
		所属等	氏名					
障害福祉基礎研修	A1 障害児の理解	鶴見大学短期大学部	河合 高純 氏	基礎	4月21日(金)午前10時から正午まで	対面研修	33	
	A2 ご本人の気持ちに寄り添う支援とは ～障害者の気持ち～	障害者支援センター多機能型事業所	渋谷 美紀 氏 利根原の芽穂 2名	基礎	10月24日(火)午前10時から正午まで	対面研修	46	
	A3 障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内 孝行 氏	基礎	10月16日(月)午前10時から正午まで	対面研修	43	
	A4 相模原市の障害福祉制度	相模原市高齢・障害者相談課	小口 祐典 氏 加藤 泰保 氏	基礎	10月25日(水)午後2時から午後4時まで	対面研修	24	
	A5 精神保健福祉制度の基礎	東海大学	中越 綾乃 氏	基礎	10月10日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	18	
	A6 最新の障害福祉の動向	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい 氏	基礎	1月7日(土)午前10時から正午まで	対面研修	40	
	A7 サービス等利用計画と個別支援計画の関係	いそご地域活動ホーム いぶき	渡邊 史朗 氏	基礎	5月15日(月)午前10時から正午まで	対面研修	42	
	基礎Ⅰ	ソーシャルワークについて学ぶ① 「ソーシャルワークの本質」	田園調布学園大学	松本 葉子 氏	基礎	5月30日(火)午前10時から正午まで	対面研修	30
		基礎			7月4日(火)午前10時から正午まで	対面研修	25	
		基礎			8月15日(火)午前10時から正午まで	対面研修	34	
		基礎			9月19日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	39	
	基礎Ⅱ	障害者虐待防止・権利擁護研修①	田園調布学園大学	隅河内 司 氏	基礎	10月12日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	29
		障害者虐待防止・権利擁護研修②	Healing&Recovery Institute	水澤 都加佐 氏	基礎	10月12日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	41
		障害者虐待防止・権利擁護研修③	社会福祉法人 訪問の家 PAC	小沢 知彦 氏	基礎	11月7日(火)午後2時から午後5時まで	対面研修	32
		障害者虐待防止・権利擁護研修④	特定非営利活動法人けやきの会 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団 相模原市社会福祉事業団 和泉短期大学	各事業所の皆さん 中野 陽子 氏	基礎	12月21日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	25
	B1 エンパワメントの視点を学ぶ	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	基礎	9月6日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	33	
	B2 「ここが知りたい!」面接技法	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭 氏	基礎	9月5日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	47	
	B3 コミュニティーソーシャルワーク	田園調布学園大学	隅河内 司 氏	基礎	10月20日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	15	
	B4 ソーシャルワークアプローチ研修	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏 北澤 和美 氏	基礎	12月5日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	30	
	B5 相模原市障害福祉の歴史	田園調布学園大学 障害学生支援室	海老沢 祐次 氏	基礎	7月26日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	25	
	B6 支援のあり方を考える～自閉スペクトラム症の支援から～	相模原市社会福祉事業団	長沢 伸孝 氏	基礎	2月6日(火)午後3時から午後5時まで	オンライン	29	
	支援技術向上研修(相談)	C1 「地域生活を支援するために必要な視点」 精神障害者の支援を考える① 「個別支援」 精神障害者の支援を考える② 「個別支援」 精神障害者の支援を考える③ 「精神障害者の家族支援」	なでしこメンタルクリニック院長	白石 弘巳 氏	応用	9月29日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	25
					応用	10月6日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	19
					応用	12月15日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	22
応用					2月27日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	26	
C2 医療観察法を学ぶ		横浜保護観察所社会復帰調整官 相模原市精神保健福祉センター	仲西 宏太郎 氏 新井 祐太郎 氏	応用	1月12日(金)午後2時から午後4時まで 2月7日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	10	
C3 面接トレーニング		相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏 北澤 和美 氏	応用	3月4日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	34	
C4 障害者相談支援キーステーションの役割と実践		相模原市社会福祉事業団	加藤 綾乃 氏	応用	2月15日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	17	
C5 スーパービジョン		田園調布学園大学	松本 葉子 氏	応用	8月21日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	27	
C6 相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会		相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏 北澤 和美 氏	応用	2月5日(月)午後1時30分から午後4時まで	対面研修	41	
C7 相模原市における相談支援地域づくりの実践報告会		筑波大学大学院	小澤 温 氏	応用	1月30日(火)午後6時から午後8時まで	オンライン	23	
支援技術向上研修(介護)	D1 重症心身障害児(者)の「こころ良き」を目指して 「身体メカニクスと介助体位」 重症心身障害児(者)の「こころ良き」を目指して 呼吸介助手法	相模原療育園	樋口 滋 氏	応用	2月22日(水)午後6時から午後8時まで	オンライン	22	
				応用	1月11日(水)午後3時から午後5時まで	オンライン	28	
				応用	1月23日(火)午後3時から午後5時まで	オンライン	28	
				応用	2月12日(火)午後3時から午後5時まで	オンライン	28	
工賃アップセミナー	E1 ウィズコロナ時代の工賃向上 E2 これが工賃向上の近道!	全国手をつなぐ育成会 (株)インサイト代表取締役	又村 あおい 氏 関原 深 氏	応用	5月18日(木)午前10時から正午まで	対面研修	26	
				応用	7月28日(金)午前10時から正午まで	対面研修	22	
	E3 地域産業との連携を考える	全国手をつなぐ育成会 (株)インサイト代表取締役	又村 あおい 氏 関原 深 氏	応用	2月21日(水)午後2時から午後4時まで	対面研修	12	
	E4 相模原市の産産連携	農業従事者	前原 昌一郎 氏	応用	1月9日(火)午後6時から午後7時30分まで	対面研修	22	
	E5 売れる自主製品の開発① 「職員意識改革と新商品のヒント」 売れる自主製品の開発② 「販売拡大と営業ノウハウ」 売れる自主製品の開発③ 「心をつかむ、商品つくりと見せ方」	県央福祉会	金山 栄美 氏	小井 誠 氏	応用	9月21日(水)午後2時から午後4時まで	対面研修	20
					応用	10月12日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	20
					応用	11月8日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	20
					応用	5月22日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	15
	F1 福祉と司法の連携	司法書士	鹿島 久美子 氏	応用	9月22日(金)午前10時から正午まで	対面研修	23	
	F2 ゲーム障害について学ぼう!	県央福祉会	西岡 秀樹 氏	応用	7月10日(月)午前10時から正午まで	対面研修	30	
テーマ別研修	F3 「性」について考える① 「知的障害のある子どもたちの「性」どう考える?」 「性」について考える② 「知的障害のある人への包括的セクシュアリティ教育」 「性」について考える③ 「一緒に寝るよ」「性」のこと」	東洋大学福祉社会開発研修センター	門下 祐子 氏	応用	8月18日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	23	
				応用	11月10日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	9	
				応用	7月10日(月)午前10時から正午まで	対面研修	30	
				応用	8月18日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修	23	
	F4 「自分の心のメンテナンス」研修	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭 氏	応用	7月19日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	23	
	F5 リハビリテーションの哲学	筑波大学大学院	八重田 淳 氏	応用	11月6日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	24	
	F6 卒業後のわたしたち	障害者支援センター松が丘園	多機能型事業所の皆さん	応用	10月30日(月)午前10時から正午まで	対面研修	54	
	F7 「自分の心のメンテナンス②」研修	みやぎ心のケアセンター	片柳 光昭 氏	応用	12月13日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	15	
	F8 ソーシャルワーク実践の展開 ～世に開く、世に働きかけるとは?～	日本社会事業大学	吉藤 龍太 氏	応用	1月16日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	20	
	F9 レクリエーション技術	福祉レクリエーションワーカー	園田 碩哉 氏	応用	3月28日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	18	
F10 職場における人間関係とコミュニケーション	東京国際工科大学 講師 相模原市社会福祉事業団	小野 史史 氏 三島 広和 氏	応用	12月8日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	12		
F11 障害平等研修	桜美林大学	谷内 孝行 氏	応用	12月18日(金)午後2時から午後5時まで	対面研修	20		
法定研修	G1 高度行動障害支援者養成研修(相模原市からの委託)	募集要項のとおり	募集要項のとおり	応用	11月21日(水)午前9時30分から午後3時30分まで 11月22日(木)午前9時30分から午後3時30分まで	対面研修	53	
	H1 障害者虐待防止・権利擁護研修	相模原市発達障害支援センター	曾根田 杏奈 氏	応用	2月29日(水)午後2時から午後4時まで	対面研修	67	
		相模原市自閉症児・者親の会 相模原市高齢・障害者福祉課 相模原市社会福祉協議会	鳥森 政子 氏 長瀬 亮 氏 茅根 一弘 氏					
H2 障害者虐待防止・権利擁護研修	相模原市社会福祉事業団	三島 広和 氏	応用	10月18日(火)午後7時から午後8時まで	対面研修	24		
※ 研修対象者の目安(基礎:主に職務経験1年目から3年目の新任職員を対象、応用:主に職務経験4年以上の職員を対象)								
						1626		
【障害福祉サービス事業所等職員・看護師等対象】								
区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数	
相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修 (相模原市からの委託)	K1 「消化管のはなし」～腸ろう・消化・栄養・排泄について～	相模原療育園	武田 憲子 氏	1月27日(土)午後2時30分から午後4時まで	対面研修	20		
	K2 「てんかんを学ぼう」		細田 のぞみ 氏	3月9日(土)午後2時から午後3時30分まで	対面研修	33		
						53		
【障害当事者、家族等向け】								
区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数	
障害当事者向け研修	I1 生活に関する力を高める講座	相模原市社会福祉事業団 基幹相談支援センター	担当職員	12月8日(金)午後1時30分から午後2時30分まで	オンライン	24		
	I2 自立促進当事者ミーティング	相模原市社会福祉事業団 基幹相談支援センター	担当職員	11月12日(日)午前10時30分から午前11時30分まで	オンライン・対面	4		
	I3 精神障がい者の「働く」から「働き続ける」ために!	株式会社Grasol	担当職員	1月18日(水)午後2時から午後4時まで	対面研修	55		
家族等向け研修	I4 家族支援講座	相模原市社会福祉事業団 基幹相談支援センター	担当職員	11月25日(日)午後1時30分から午後3時30分まで	対面研修	6	8	
						89		
【市民等向け】								
区分	研修名	講師		実施日時	実施方法	参加者数	昨年度の参加者数	
市民等向け講座	J1 障害平等研修	桜美林大学	谷内 孝行 氏	12月18日(月)午後2時から午後5時まで	対面研修	F11と共同開催		
	J2 聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室①	NPO法人手話技能検定協会	谷 千春 氏	12月11日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	15		
	J2 聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室②	国際医療福祉大学三田病院	高橋 優宏 氏	1月29日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	28		
	J2 聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室③			2月26日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	11		
	J3 映画「ちづけ」上映会&トークイベント ～地域で暮らすってどういうこと?～			6月24日(土)午後1時から午後5時まで	対面研修	251		
						305		
総計						2073	名	